



特 232

875

煙草拾周年史

始



特 232
875

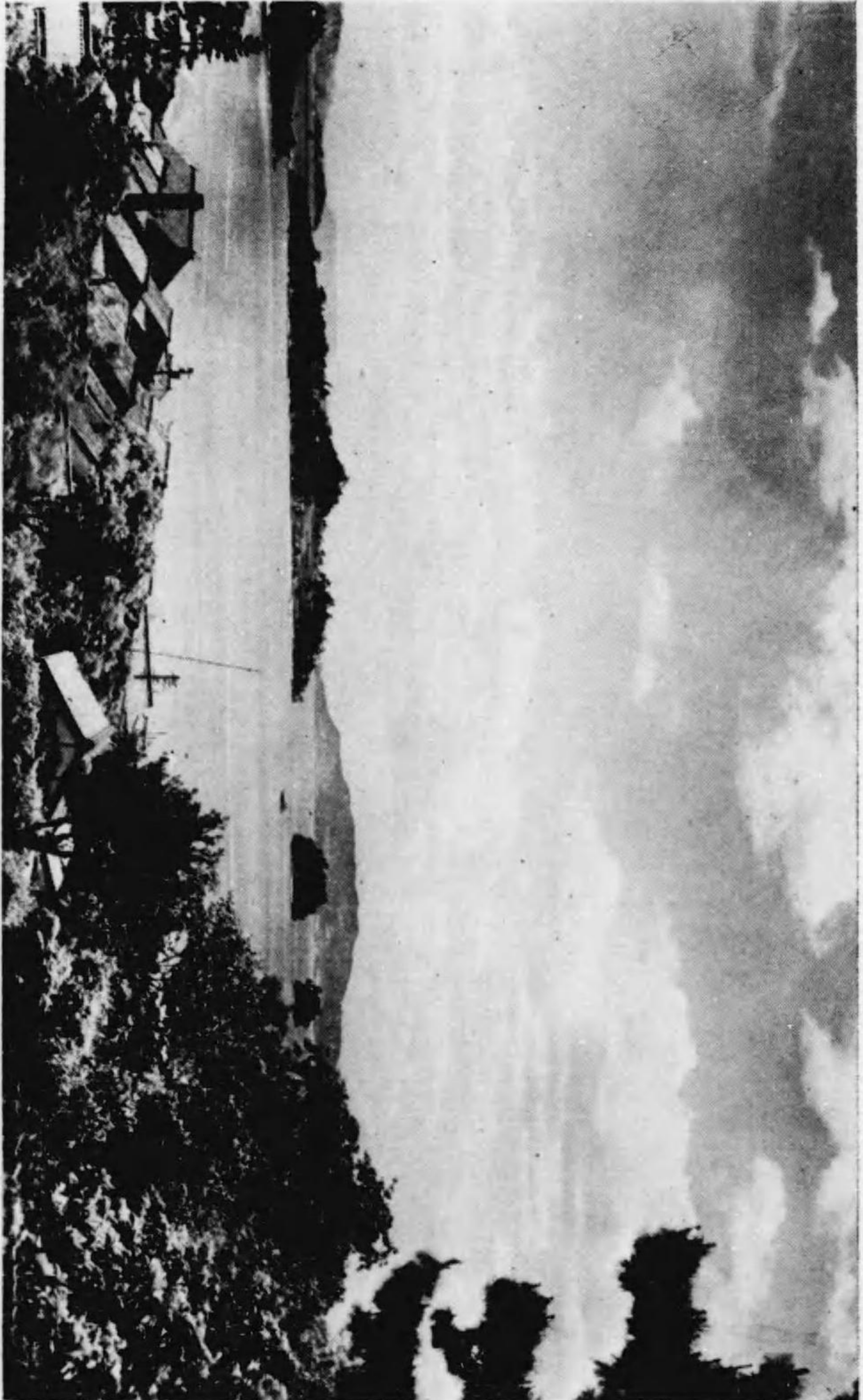


昭和十年十二月

拾周年史

邑久郡煙草耕作聯合組合





か嶺山の山脚や島屋の國四「色景の島と海」
「るが展に方前の町るめ眺るか真眞の所張出
景佳のかなかなは邊るゆ見に間の樹棧烟雲



部一の舎廳と門正の所張出窓牛局賣專方地山岡



所授收草煙るす屬に内構所張出窓牛
でのもたれき置設に共と換移の務事作耕月三年三和昭
ふ・扱取な務事納收來以年四和昭



師技局賣喜谷澁



事知久多



長會合聯縣山郡



長局田栗



長課定鑑屋守



長課業事山中



長合組合聯郡林



長合組副合聯郡林小

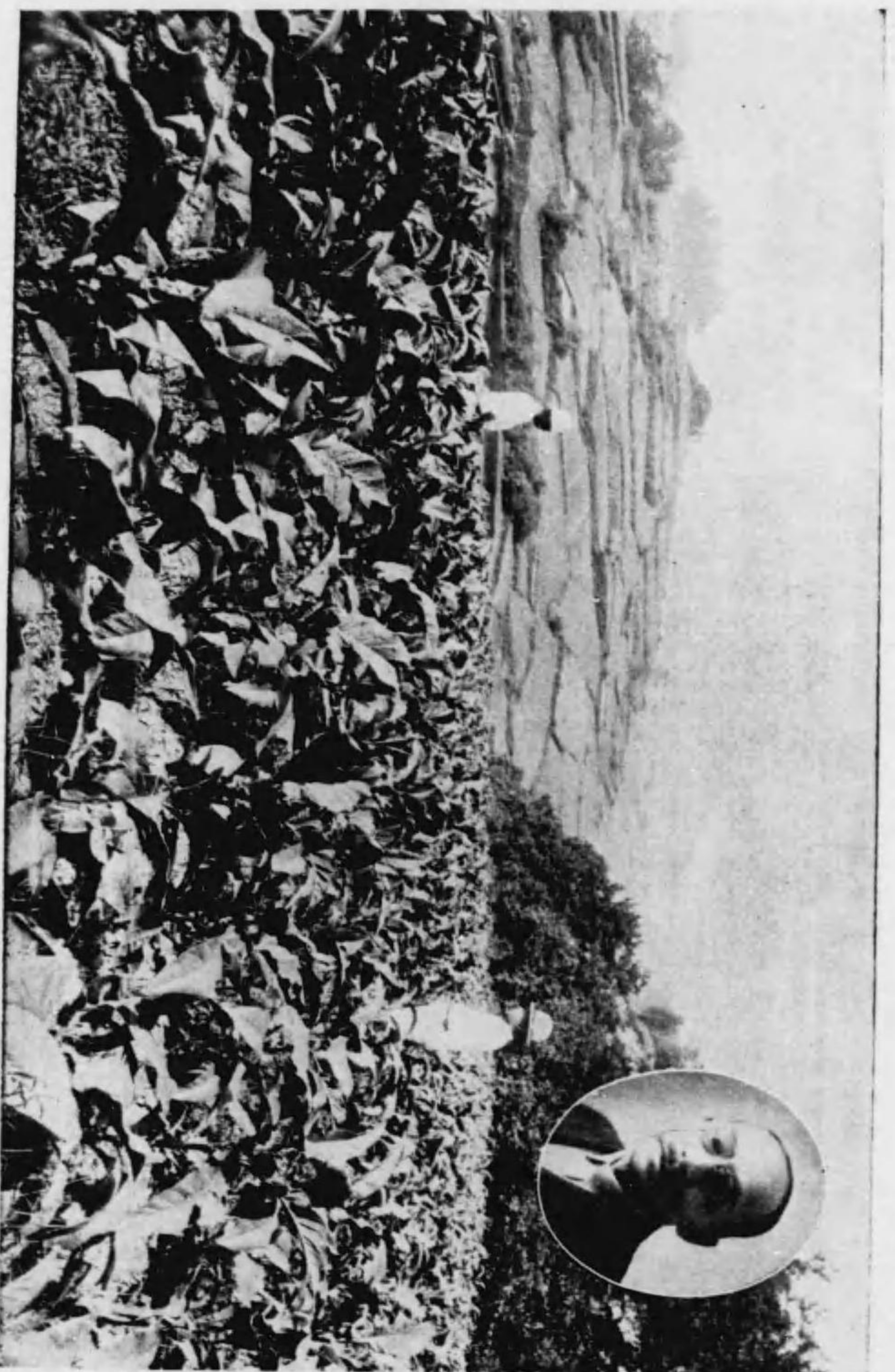


長所張出邊渡



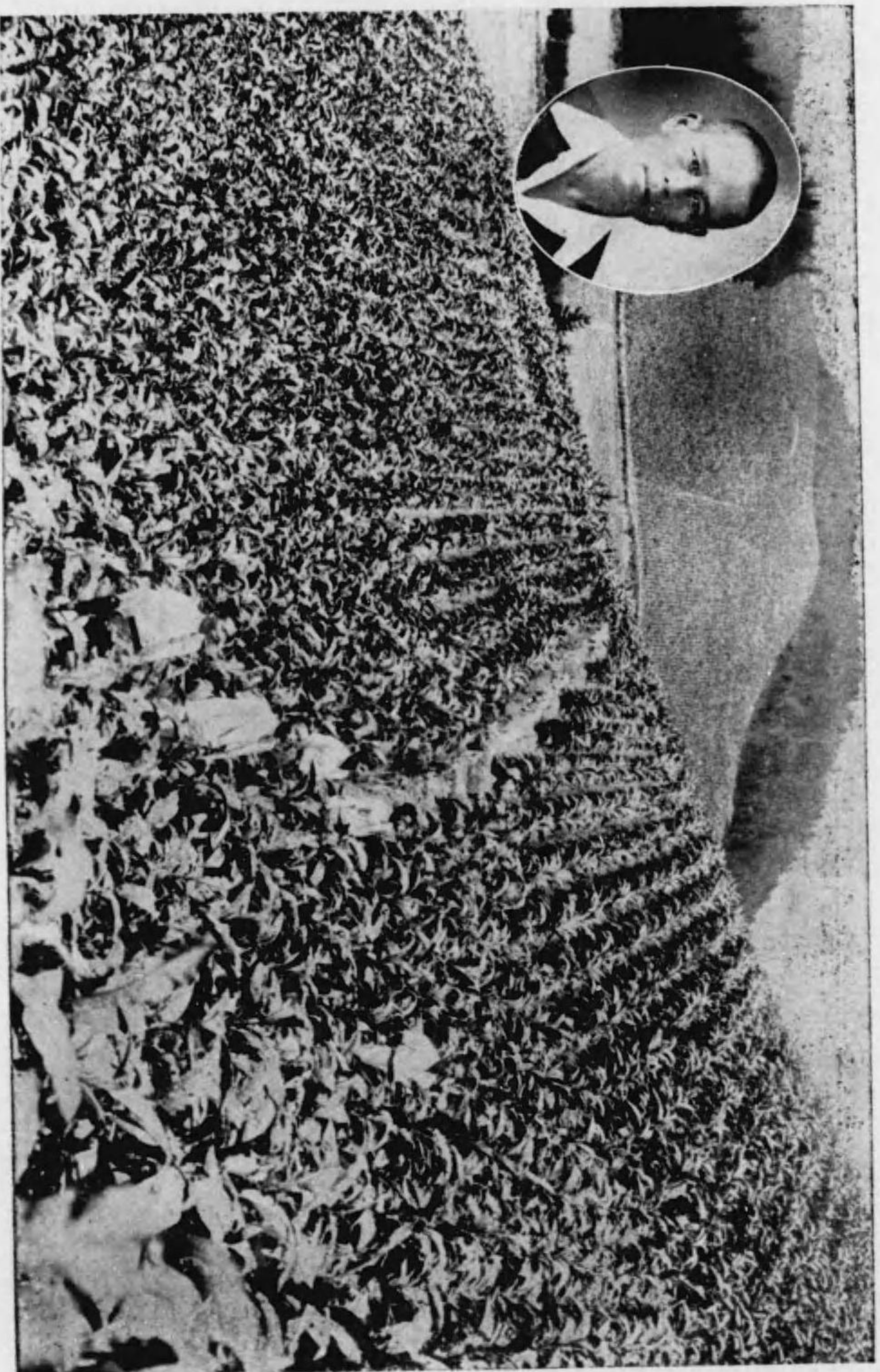
宇田局長

宇田局長は本郡が始めて煙草作を要望した
即大正十五年當時岡山地方局の事業課長と
して御在勤になり、試作御認可に至る迄幾
多の勞を煩はしたることは今尙本郡産地一
同の者の深い感銘である。
爾來本郡の煙草作は十ヶ年の時を流れて漸
く一個の存在を爲すに至つた、この記念の
秋に當りて、偶々、産みの母である閣下が
亞ぐに御榮進更らに海外に長途の御研鑽を
積まれて本年岡山地方局長として御赴任さ
れたることは洵に奇しき御縁であると同時に
萬腔の祝意を表し且つ本郡産地の今後の
御指導をお願いしたい。



組合長 小橋 廣 衛 氏
牛窓町大浦方面の圃地

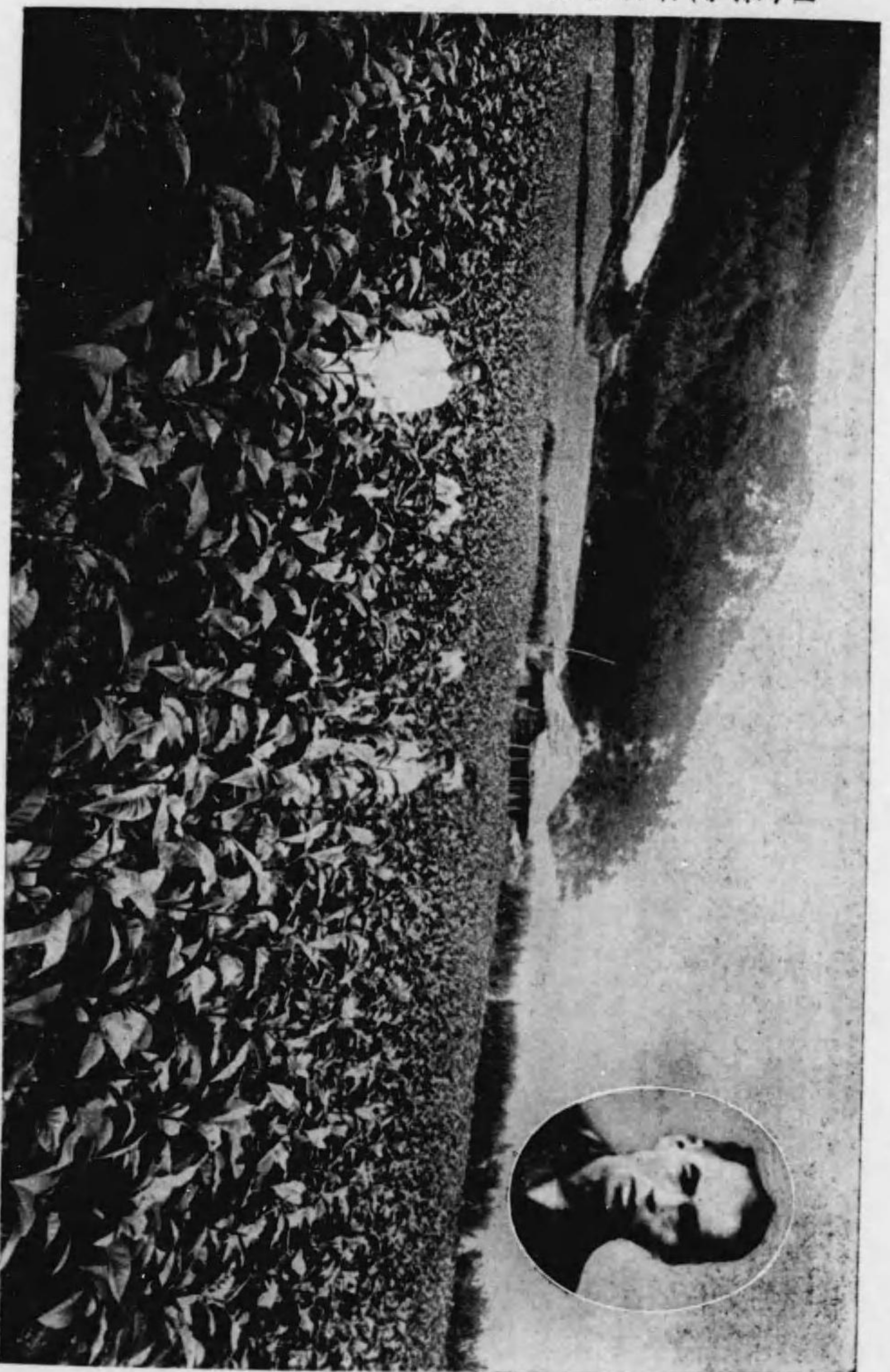
本町の耕作は收購官署の所在地で他に見れば益に浴じ、ある。



組合長 市川彌曾太氏

鹿忍町東方面の圃地

本圃地の大部分は岡利一氏が一町五反歩を耕作しつゝあるその一部



組合長 定本六二氏

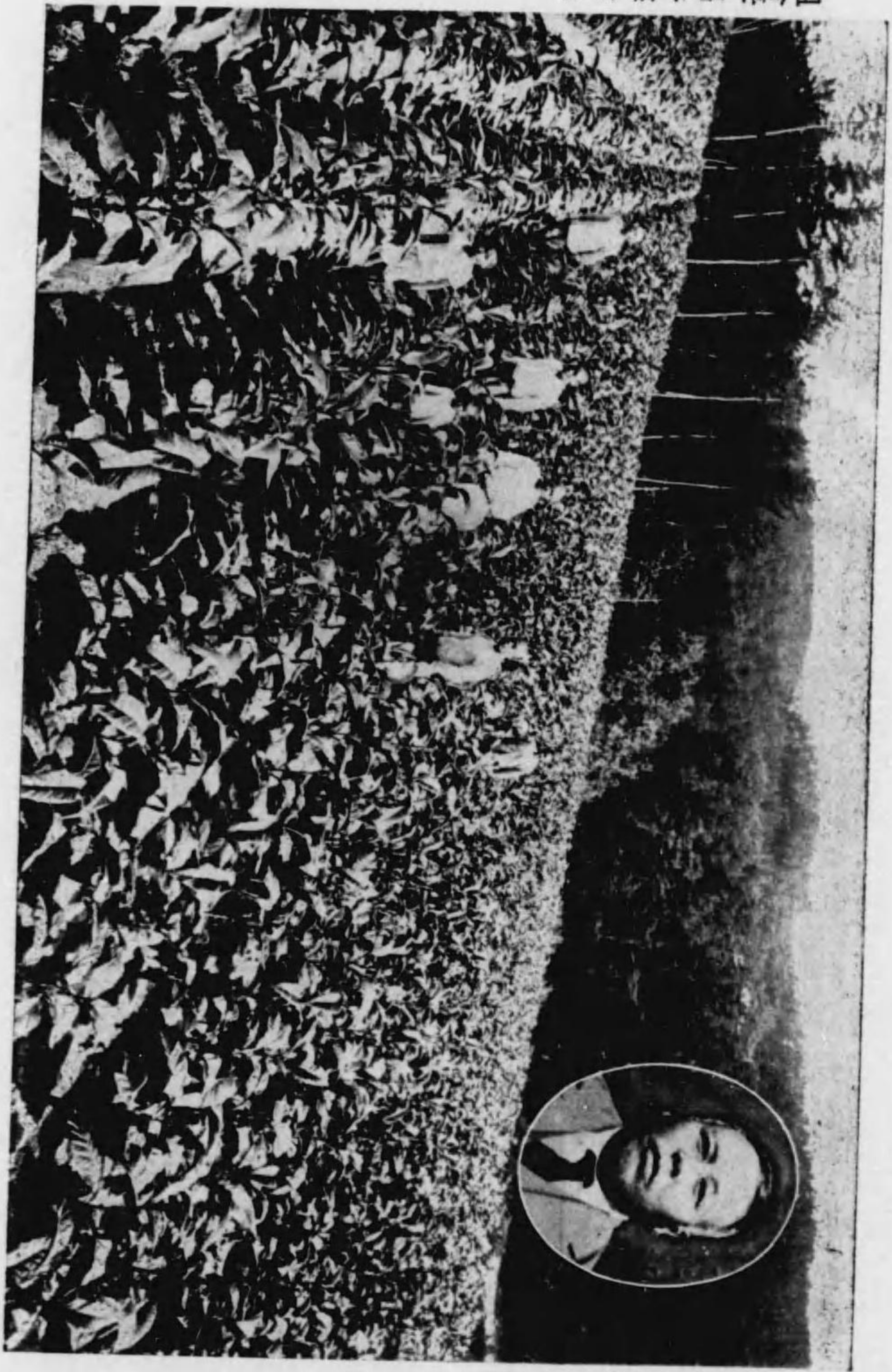
朝日村久々井方面の圃地

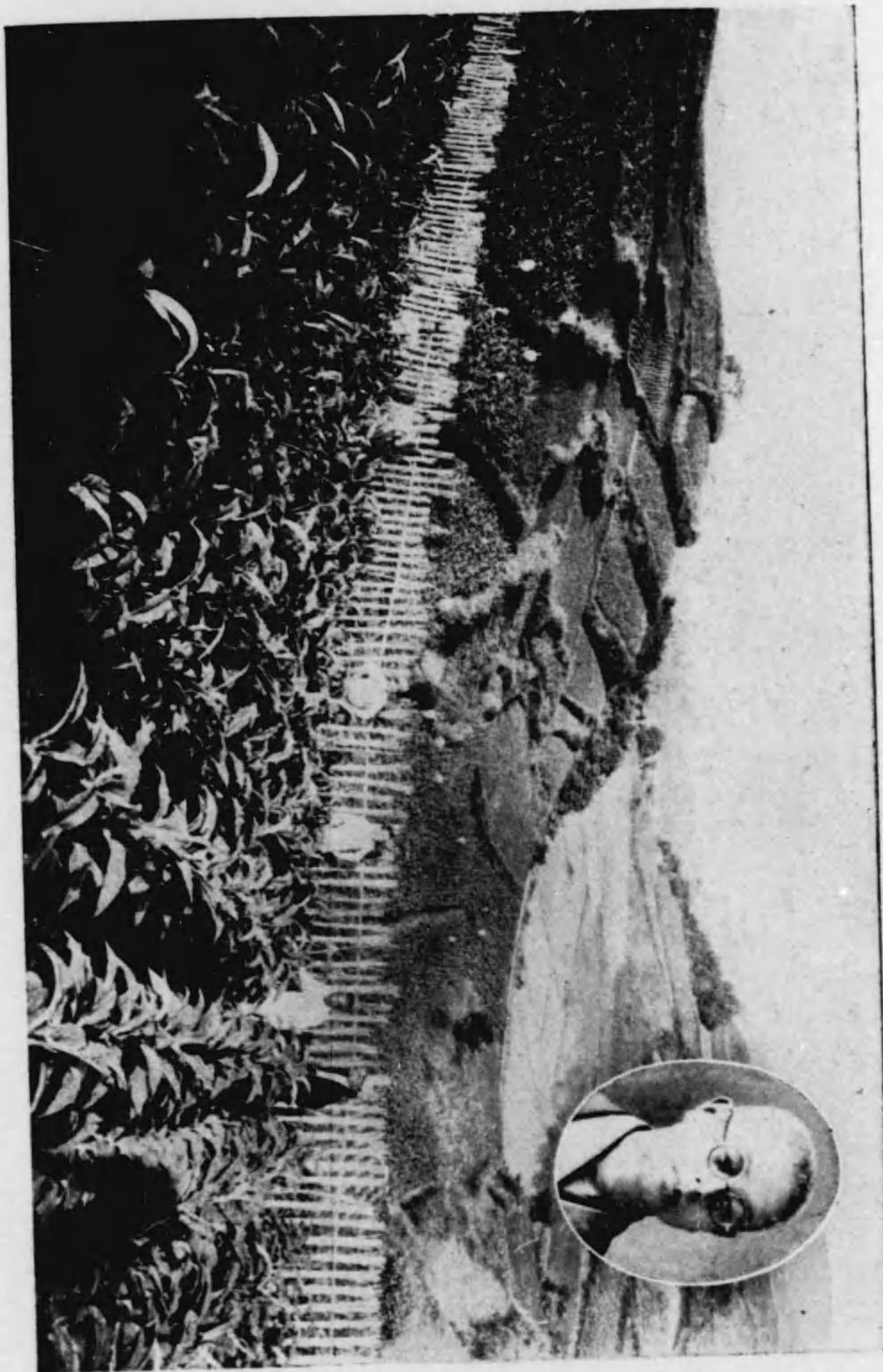
本村は郡中第一の耕作面積と耕作力とを有し曠の優勝旗を四回返り獲得した名譽を負ふてゐる。

組合長岡本専次郎氏
 大宮村干手方面の圃地
 本村はその成績に於て郡中常に上位を占め經營健實にして漸進の方針
 で一貫してゐる。



組合長 出井梅咲氏
 本庄村上山田方面の圃地
 本村の煙草は田作(稻)に耕作力を制限されて充分な伸長を見り、併し
 多くの精農者有し見て今後に期待されてゐる。

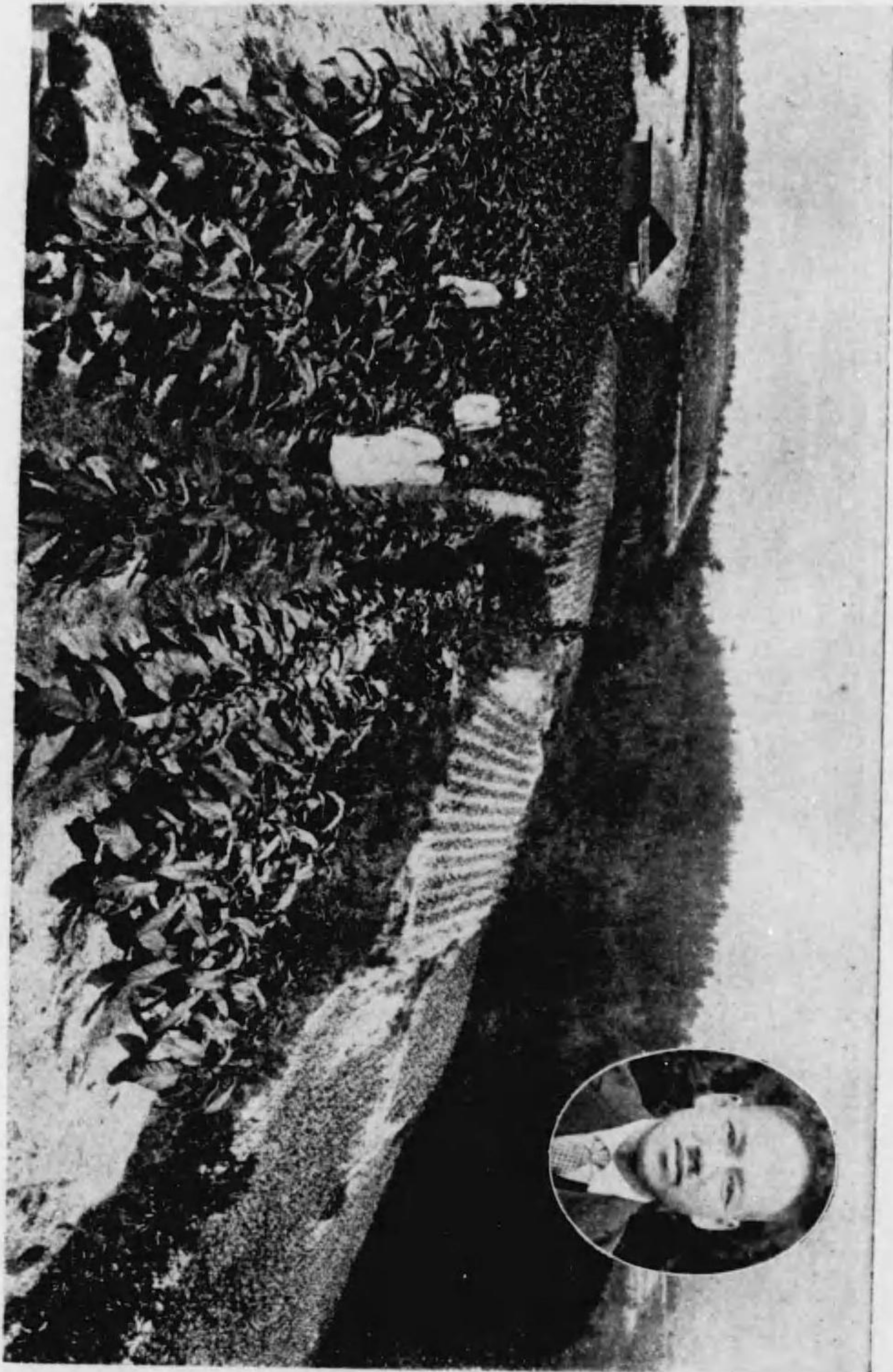




組合長 小林 壽 太 氏

長濱村奥浦下モ方面の圃地

本村は品質改善のために耕や疲勞の感があつたが、勉強しからず後半に於ては屈指の優品を多出するに至つた。



組合長 岩田 幸 七 氏

玉津村庄田方面の圃地

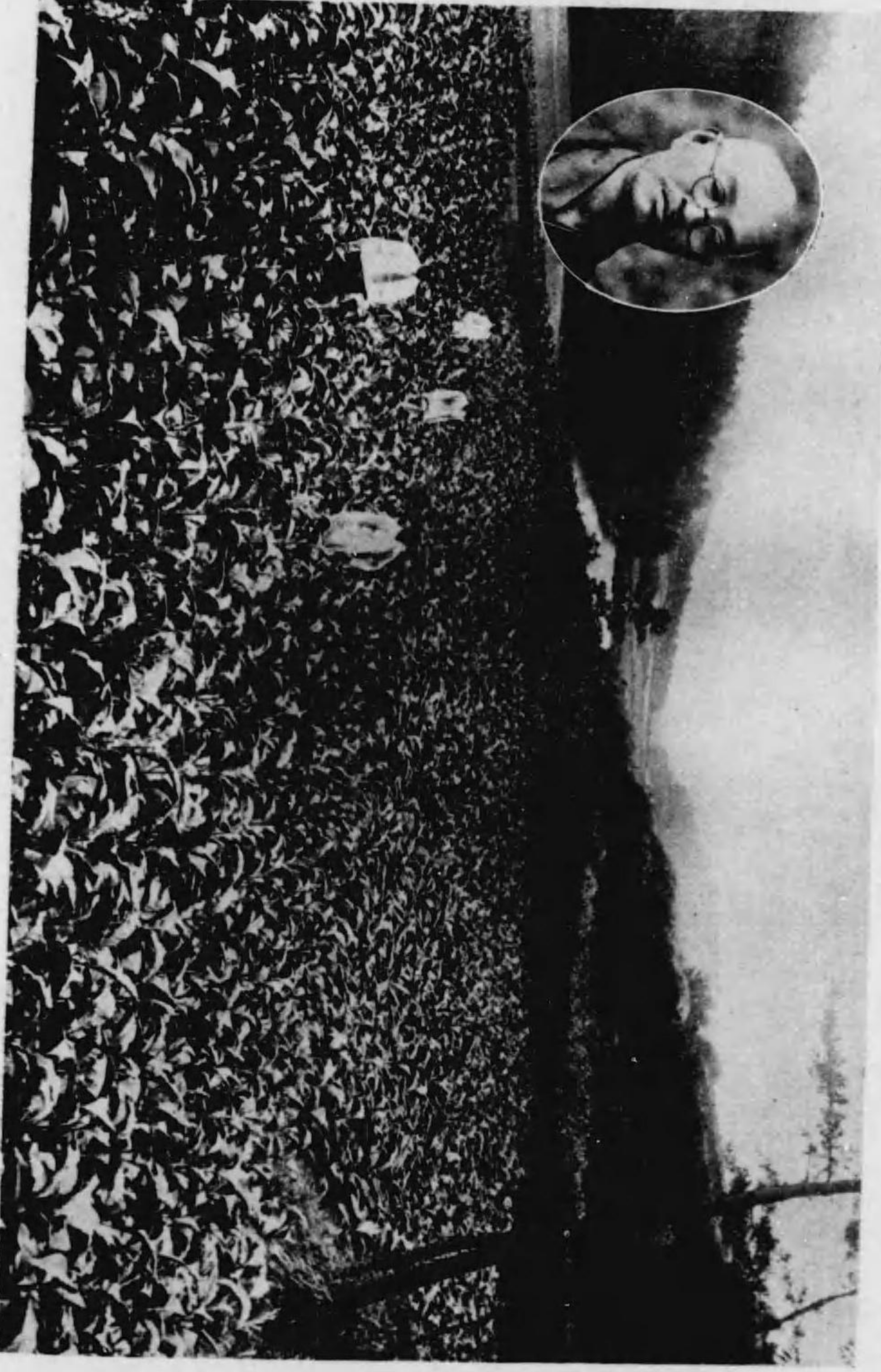
本村の耕作は大部分田であつて、田に於ける技術は岩縣の優勝旗を一回獲得した名譽を負ふてゐる。認真は本年開墾した山頂



組合長 林 進八氏

美和村西須賀方面の圃地

本村は大部分田に耕作され郡中卒先の地でその成績は十ヶ年平均の第一位にゐる。



組合長 奥山 若藏氏

寫真は副組合長 小橋 信治氏

太伯村竹田方面の圃地

本村は昭和八年以來の耕作で年次若く未だ準備の時代として經營されてゐる。煙草に好適の圃地が打並んでゐる、此の解決は唯汗と熱意の力による。

組合長坂本關藏氏
袋掛村鍛冶谷方面の圃地
本村は品質改善に施設して大規模な開墾を今の現在豊富な耕地を有し
その成績は後半上位を占むるに至る。



緒言

備前平野の東南をうけて吉井川の下流を東へ展開して瀬戸内海に面する、我邑久郡の廣袤は一七七、七五六方軒にして、北部から中部に亘つて大小の山岳が起伏せるも、概して平坦にして土地は肥沃、氣候は溫和であり、年中殆ど雪は見ぬ。

海岸は巧に屈曲して、舟運に、漁獲に、又鹽田に利用の天然資源に恵まれ、白砂青松の風光はまた國立公園の一部をも形成してゐる、かゝる環境を郷土とする、郡内の産業は多種多様にして色とりどりに賑ふてゐる。

就中農産に於ては平地は田に、丘陵臺地は拓いて畠となし、これに各種の農作が交錯して營まれつゝある、併し夫れと同時に時價の變動に據つてこれ等生産の上に絶えず著しい消長が繰り返されて應接に遑なきが如き事實の一面もある。

煙草作が發生して爾來十ヶ年、其の間に順調なる發達を遂げ現在に於ては地方經濟の上に重大なる役割を擔任する迄に到つた。

此の偉とすべき業績は要するに動搖なき生産にのみ依存し來つた久しき習性に反省して、安定なる生

産經營に倚らんとしたる結果に外ならぬ、然りと雖その過程は毎に荆棘の難路にありて能く奮勵努力して遂に贏えたるものなりとす。

この記念すべき経過の一端は將來に資するものあらんと郡内一致の切なる要望に應じて、邑久郡煙草耕作十周年史として上梓することとしたるなり。

誌中縣並に專賣局諸賢の照影を許されて、光彩を添えたることを拜謝す。

尙ほ本誌の編纂に多大なる勞を寄せられたる專賣局田邊技手、同樋口書記に對し深く感謝す。

誌題は組合長林翁の筆とす。

各町村の圃地は昭和十一年作の状況を撮りたるものにして、發刊の遅れたることも斯る事情にありたることを諒恕されたし。

邑久郡煙草耕作聯合組合

目次

沿革	(一)
耕作法の變遷	(四)
耕作の獎勵	(一三)
展覽會	(一四)
共進會	(一五)
業績共進會	(一四)
附專賣局表彰	(六八)
縣聯合會表彰	(七二)
雜		
人事異動	(七五)
組合の變遷	(七)
實行團並に婦人部の狀況	(七九)
統計		
郡内町村別	(一)
縣下郡別	(二)

邑久郡米國種煙草耕作拾周年史

沿 草

大正十三年に於ける地方の旱魃は頗る猛威を逞ふし、就中我が邑久郡の如き農作物被害の程度最も激甚なるものありき。邑久郡農會憂慮措く能はず百方之が對策を攷究せるの時、會々岡山地方專賣局より書記埴義定氏時の郡農會長林甚八氏を訪ひ、告ぐるに和氣郡に於ける農作物旱害對策としての米國種煙草耕作の實況を以てし本郡亦耕作に不可ならざるべきを悠憊せらる。林會長意大に動く所あり。即ち郡農會技術者三宅義也山崎金三郎の二氏に命じ詳に和氣郡に於ける煙草耕作狀況を調査せしめ、而て郡内旱害激甚なりし地方町村農會長を集めて米國種煙草耕作調査の結果を報告し且宜く地方農作物改良に善處せざるべからざるを力説し各員亦熱心に協議したり。當日參加したるは牛窓、鹿忍、朝日、大宮、長濱、玉津、裳掛、美和、本庄の九ヶ町村農會長なりき。

大正十四年五月町村當事者をして和氣郡煙草耕作實地狀況を視察せしめたる結果耕作希望の意旺なりしにより即ち牛窓出張所を経て岡山地方專賣局に耕作許可を申請したり。時の局長有田靖氏克く地方の事情を諒し中央本局に對し大に地方米國種煙草耕作開拓の有望なるを力説せられ、林郡農會長又上京岡山縣選出小橋代議士を煩はし中央當局に許可方を陳情せり。

然るに大正十五年一月十日付にて裳掛、美和の二ヶ村に對し僅に七町五反歩試作の許可指令ありたるに過ぎざりしかば各町村は到底袖手すべくもあらず、大正十五年一月長濱村農會長小林壽太氏また上京して小橋代議士を訪ね具さに地方農村の現状を陳べ煙草耕作段別の増加方に付き重ねて中央當局に向つて盡瘁せんことを懇請し、同氏亦快諾大に努力さる、所あり、後數日同代議士より再三願意可能の飛電に接し漸く愁眉を開くを得たるも許可遷延播種期を失するの虞ありしに、より、林郡農會長再び上京小橋代議士と共に斡旋されたる結果更に長濱、鹿忍の二ヶ町村に八町歩試作許可指令を得たり。斯て邑久郡農會並に地方農家が熱心に期待せる米國種煙草作は大正十五年度に於て初めて本郡裳掛、美和、長濱、鹿忍の四ヶ町村に試作され、當業者は多大の興味を以て大に將來を期せんとするに到れり。是實に專賣法施行後に於ける邑久郡煙草耕作の嚆矢にして吾人は本郡米國種煙草耕作史上永く小橋代議士の勞を牢記せざるべからず。

次で昭和三年愈米國種煙草耕作地許可となり茲に本郡米國種煙草耕作の確立を見るに到れり。爾來耕作段別漸次増加して今や本郡の總耕作反別實に壹百八拾九町歩に達し頗る順調の發達を來せしもの固より當業者が熱心業に従へるに共にまた地方專賣當局の指導其の宜しきを得たる結果にして、特に當初より間接直接に指導提擲の衝に當られたる時の牛窓出張所長和田次平氏同技手田邊亨氏並に本郡煙草耕作開始當時の郡農會長として又本郡煙草耕作以來邑久郡煙草耕作聯合組合長として十年一日の如く老軀を提げて斯業の振興に盡瘁せらるゝ林甚八氏の如き其功勞洵に多とすべきなり。

次に本郡米國種煙草耕作と共に記憶せざるべからざるは牛窓葉煙草收納所設置に關するの一事なり。當時地方專賣局は和氣郡が米國種煙草耕作先進地たるの關係上收納所を和氣郡片上町に設置すべく既定の計劃にてありき。然るに和氣郡に於ける耕作段別は當時二十町歩に満たざるのみならず其他の事情また容易に經過せざるに對し邑久郡の耕作反別は逐年増加の傾向あり斯業の發展亦著しきものと共に收納所設置の要益、急を告ぐるの狀勢に迫りしかば、地方專賣局は更に調査研究の結果遂に適當の地を邑久郡牛窓町に相し茲に收納所を設置し以て牛窓出張所管内葉煙草收納を見るに到れり。所や境地廣くして風光明媚に、設備の完全、舟運の至便誠に其所を得たりと言ふべし。而て此間に於ける岡山地方專賣局並に同牛窓出張所、邑久郡關係當局、牛窓町當局諸賢の勞や亦本郡米國種煙草耕作上深く感謝に堪へざる所なり。

今や邑久郡米國種煙草耕作は方に拾周年に臻る。

願ればその間時代の變轉は時に煙草作擴張の要望となり、或は變じて縮少を唱ふるに至る等運営必ずしも一貫せるにあらず、この明暗兩相に對策せざるべからざるあり。亦適應生産の必要に急迫されてその途上に幾多の犠牲を要したるなき各町村ともに今時に及びたるは蓋し偶然ならざるを想ふ。

然るに本郡の煙草作は創始以來漸を逐ふて發達し地方多角の産業中より巨擘を占むるに至らしめたるは畢竟當業者の堅き信念と努力とによりたるものにして、所謂刻苦十年更らに撓まず遂に郷土産業の一つに確立したるを以て其功績は永久に郡産業史上異彩として語るに足らん、若しそれ斯業將來の事に至りては唯將に當局者の努力と當業者の奮闘に俟つあるのみ。

耕作法の變遷（概要）

四

苗床の構造

試作當初近隣の先進産地は移植期を五月中下旬とし、苗床は地床を普通とし、岡山縣下に於ける内地葉産地の如き完全なる揚床は極めて稀に見る状態なりしを以て苗床設備及び管理につきましては先進地の儘實行すべきや將亦手加減を加ふべきやは可なり重大なる問題なりしが、其筋の指導により備中葉作州葉の苗床に比し聊か手加減を加へ簡易となしたる播巾四尺の揚床とし、初年は耕作認可の關係上三月上旬、次年よりは二月下旬に播種せり、然るに三月下旬並に四月上旬は春寒強く苗の發育遅々として進まず一面早作の必要を感じ、昭和四年作より備中葉同様完全なる揚床に改め、床巾も播巾六尺若くは九尺となし貫つらを使用し、播種期は二月十五日より二月二十五日迄を期間とし、防風設備は特に完全にし、苗床の内容完備には一段の改善を圖りたり、苗床の坪数は本圃一反歩に對し三坪となし一寸八分に点播すること、せしが良苗は年と共に増加し、著しき病害又は虫害に犯さるゝものなく、設備の改善と相俟つて管理周到となりたる爲め強健なる良苗を多數得らるゝに至り、従つて各町村を通し苗の不足を告ぐるが如きものなきに至れり。

移植期

其筋の指示により五月一日より五月十五日迄とし、五月上旬を中心とせしが最初二ヶ年は五月中旬植付のもの可なりあり

しも漸次早植となり、指示事項の改正、苗育成の上達、耕試作の實蹟氣象の關係等により四月下旬を移植適期となすに至れり。

移植苗

試作時代は苗の育成幼稚にして、莖葉は伸張せるも細根之れに伴はず、活着不良の爲め移植後晴天連續の時は必ず灌水をなし、其の努力尠なからざりしが苗床の改善良苗の育成をなすに至り、移植後の活着良好にして灌水の如きは甚しき早害の時を除き殆んど必要を認めざるに至れり、而して苗の太さは最初は着葉十一、二枚にて莖丈け一寸四、五分のものを標準とせしむるも實験の結果は苗の太さに失するより聊か小なるもの常に成績良好なるを以て漸次小苗植付けとなり、昭和七八年頃は着葉十一枚にて莖丈け五、六分乃至七、八分にて一寸以上とならざる程度のものにて根張良く葉の粗剛ならざるものを以て移植の適苗となせり。

畦株間距離

試作時代畦間三尺四寸株間一尺五寸のものと、畦間三尺株間一尺五寸の二様を指示され、後ち畦間三尺二寸株間一尺五寸を追加せられて三種の内一つに依ることとなりしが、邑久郡の畑地は極めて肥沃のもの多かりし爲め、最も畦間廣き三尺四寸を多く用ひ其他は僅少なりしも煙草の草出來は極めて旺盛長大にして三尺四寸の畦巾にして尙且つ狹隘を感じるもの多かりし、然るに煙草圃地に對する研究改善の結果葉形は漸次小となりたるを以て畦間三尺二寸及び三尺のもの増加し、

五

昭和八年作に於ては急傾斜地等特別の畑地を除く外三尺四寸の畦間は殆んど用ふるものなく、之れに反し三尺畦大多數を占むるに至れり。

本圃肥料

試作時代に於ける本圃一反歩當り肥料の標準は、

- 堆肥 二〇〇貫 乃至三〇〇貫
- 菜種粕 三〇貫 乃至五〇貫
- 草木灰 二〇貫 乃至四〇貫

にて基肥に全量の六割、追肥に四割を施し其他の肥料は一切之を施用せざること、せり、然るに専賣局の示す善良なる堆肥と稱するものは充分腐熟して細末となれるものにして、地方農家は是れ迄斯の如きものを調製施用せしこと殆んどなく多くは半熟のものなりし故、其の肥効は遅く爲めに煙草の作柄は著しく遅延し葉形長大となりしもの多かりき、而して一面地方慣行の人糞尿、硫酸アンモニア、大豆粕等は之れが施用を堅く禁ぜられたるも、果して煙草肥料として不適當なりや亦如何なる程度に害ありやにつき只其筋の講話又は注意にては納得し得ず、仍て極めて小範圍の肥料試験を各自に試みたるもの尠なからざりし模様なり、亦再製油粕綿實粕の施用につきては數年部分的に試みたりしが結局煙草肥料としては完熟堆肥、菜種油粕草木灰を以て最も適當なる肥料として施用するに至れり、磷酸肥料は朝日村に於ける磷酸肥料効果試験の結果により郡内産地一般に對し一律に之れが加用の必要を認めざりしを以て本郡に於て磷酸肥料の加用は土地の状況

によりて考慮すべきこと、し、之れを施す場合は反當三貫以内としなるべく米糠を以て磷酸分を補充すること、なれり。

施肥の方法

前述の如く基肥六割、追肥四割とせしも昭和三年より漸次追肥の施用量を減じ、基肥の量を増加し昭和七年以降は殆んど全部の肥料を基肥に用ひ追肥を廢するもの多きに至れり、而して一反部當肥料の種類用量(昭和八年)は、

- | | | | |
|------|------------------------|-------------|-------------|
| 堆肥 | 腐熟し六、七分目の
篩にかけ細末のもの | 一五〇貫 乃至二五〇貫 | 三〇〇貫 乃至四〇〇貫 |
| 菜種油粕 | (純正) | 三〇貫 乃至四〇貫 | 五〇貫 |
| 草木灰 | | 四〇貫 乃至六〇貫 | 六〇貫 |
- 普通畑 開墾等の瘠地

磷酸肥料を加用する際は過磷酸石灰三貫以内とし、草木灰不足の場合は硫酸加里を以て補ふこと、せり。前記肥料は殆んき全部に涉り基肥として施し、加里肥料のみ分けて追肥に施すものあり、而して全部基肥となす場合には移植約二週間前に煙草を植付くべき筋へ淺く溝を造り、之れに基肥の約六割(油粕は醱酵せざるもの)を入れて鉢にて淺く土と切り交ぜ、薄く土を覆ひ置き、移植當日表土を柔げて苗を移植し、基肥の残りの約四割を蓋肥として(油粕は醱酵せるもの)移植後直ちに根元の近くに之を施し、極めて薄く土を覆ふものにて此の方法によるもの多し。

自給肥料の奨励と肥料の制限

善良なる堆肥の調製施用につきましては試作當初より特に力を注ぎたるものなれども、煙草に適當なる堆肥につき智識乏しく其の効果を痛感せざる状況なりしを以て種々の方法にて之れが製造を奨励したるに當時肥料に就て權威ある人にて堆肥無用の如く聞き得らる、講演をなすものあり、堆肥奨励には少なからず支障を感じたり甚しきに至りては「專賣局に奨励する堆肥は余りに手数を要し窒素含有量の如き未熟のものに比し著しく減損して居り不得策なりとのことを講演會にて某氏より聞きたり」堆肥奨励上困ると申出するものあり、原料の尠なきと堆肥舎のなき等全部の實行には尠なからず苦心を拂ひたるものなり、前記無用論などにつきましては煙草耕作に經驗未だ淺き時なりしを以て之れが是非に付き迷ふものを生じたり、然し煙草は短期間に之れが成長を遂げしめる爲めに未熟のものにては其の目的を達する上に不都合なると煙草耕作の成績を昂上せんと欲せば腐熟堆肥の相當量を絶對に必要とし、窒素分の減耗又は手間代よりも善良なる堆肥を施用することにて於て數十倍の利益あることを説示し、生産品につき又は視察に共進會等にて之れが普及を圖りたるに堆肥は各自競ふて善良なるものを製造すること、なり、堆肥舎も其筋の奨励と共に漸次増加しつゝあり。

加里肥料は従來人糞尿又は硫酸を主肥とせる關係上重要視されざる嫌あり、従て灰小屋の設備もなく灰の採集につきても注意の足らざるものありしが、煙草耕作と共に灰の必要を説き、毎朝焚火前に灰を取りて加里肥料となし又灰小屋施設等著々實行中にある。

本郡に使用する人糞尿は自家製産量は極めて少量のものなれども、阪神地方より肥船にて購入する其の數量は實に夥きものにして之れ等は南瓜、馬鈴薯其他の作物に施され、其の畑の後作に煙草植付をなす時は悉く煙草は失敗を招くを以て煙草耕作の發達と一般農作物に對する肥料につき注意研究を積むに至り、人糞尿の購入は著しく減少し人造肥料の如き亦一

層注意せらるゝに至り加ふるに自給肥料に對する研究は最近農林省其他の注意により一層拍車をかけられて自給肥料の生産には熱心實行中にある。

心 止

試作當初の心止は普通の場合にて蕾が葉の上に現はれたる時、着葉數十二、三枚(採收する葉のこま)とし、生育の悪しきものは八、九枚にても可なりとして、相當深止めを奨励せしが早作の勵行、善良なる堆肥の施與、前作の改善と時代の要求とにより漸次淺くなり、昭和七、八年には普通の作柄に於て花蕾抽出し花が一個開き始めんとする頃第一花枝より二、三枚を附して摘去すること、なりたり。

乾燥法

收穫乾燥の方法は凡て先進産地たる大阪地方專賣局管内に行はるゝ方法に依りたるものなりしが、乾燥主体たる葉煙草の素質が改良されて居らず、深止と肥効遅れのものある上に乾燥室の數に於て耕作反別に比し僅少なりし爲め、乾燥技術幼稚なる上に無理を生じて中葉並に薄手本葉は出色良好なりしも、厚手本葉に至りては褐色若くは黒褐色となり甚しきは納付に堪へざるものも可なり産出せり、幸ひ耕作法の改善進歩と乾燥技術の上達に加ふるに乾燥室の増設等により年一年と好成績となり、最近に至りては試作當時の面目を全く一新し、生産せる生葉の素性、吊込數量、乾燥室の状態外界の影響等を考慮し適應と認むる方法により乾燥をなすに至れり、而して乾燥時期は當初に於ては七月上旬に着手し九月中旬に及び

相當長期間を要せしも年々短縮し、近年は六月下旬着手、八月上旬には乾燥終了を告ぐるに至り、期間を著しく短縮し生産品も統一せらるゝに至れり。

一〇

乾燥室

乾燥室は全く大阪式に則り、稀に三坪のものあれども大部分は四坪のものにして、十四尺建五段吊りと十六尺建六段吊の兩様ありて十四尺建のもの多し、而して乾燥室一棟當支配反別は最初約四反歩にて加ふるに大出来煙草のもの多く極めて狭隘なりしを以て成熟の適期に葉の採收をなすことを得ず、多くの過熟葉を採收するの余義なき状態にて乾燥室の増設を痛感せしも耕作初期に相當多額の固定資本を煙草耕作の爲めに投資せる折柄として數年間乾燥室の狭隘を忍び來り、漸次増設して六、七年後に至り大体適當の支配反別となるを得たり。

前述の如く乾燥室は全く大阪式に則りたるものなれども幾多改善の要あるを認め、天窓竈温度観測等に於て改善を加へ從來の欠点を補ひ著しき効果を奏しつゝあり。

乾燥燃料

最初は全部石炭を使用し、一反歩につき千斤以上を用意せしものなりしが前記の改善と耕作乾燥方法の進歩とにより最近約八百斤にて事足るに至れり、而して石炭は良質のものを奨励し元山礫炭等を多く使用せり、昭和六年より松割木等も奨励し現在は石炭と松割木の内各自欲するものを用ひつゝあり。

貯藏

最初は各自の都合上理想の場所へ理想の設備をなすこと容易ならず、殊に煙草耕作の基礎定まらざるを以て試作當時は一時期、間に合せの貯藏を余義なくなしたれども幾多の不便及び失敗の経験を積み、漸次完全なる設備をなし貯藏に對する智識の昂上と共に貯藏中の失敗を除去するに至れり。

調理納付

葉煙草の良否を鑑別する智識乏しき初期時代は心勞と手数を掛けて尙ほ且つ當局の指示に添ふことを得ざりしも、熱心なる指導と不斷の研究努力により年と共に面目を改め手数を減じ調製品の上達を見るに至り、從て納付成績も昂上するに至れり。

煙草の病虫害

本郡煙草の病害につきましては其の發生を未然に防ぐべく圃地の選定、耕作方法、殘幹の整理等につき初年より特に注意を加へ來れり、幸に未だ著しき被害なく、モザイツク病は病害の内にて最も被害多きものなり、近時連作地には根腐病漸増の傾向あり其他の病害は極めて僅少と認めらる。

虫害の重なるものは根切、針金虫の被害にて夜盗虫は年により其の害大なるものあり、昭和五年は朝日村、長濱村に多數被

生し被害甚しきものありたり、惣じて虫害は本郡に於て概して輕微なり。

煙草前作に對する研究改善

煙草に對する肥料の種類、用量及施用法等は耕作法の變遷概要に述べたる如く、嚴格に之れが實行に努めたるものなれども眞に優良葉の生産を期せんとせば改良の支障となる根源に遡りて考究するの要を認め、之れが研究の結果煙草前作物の改善並に之れに對する肥料の研究に努め、以て煙草品質昂上に支障の点を除去することに努めたり、今日邑久郡産煙草にして天下に名聲を博するに至りたるは蓋し煙草前作の改善と次に記する開墾地煙草の耕作獎勵等預つて力ありとす。

開墾地の獎勵

郡内農家一戸當り耕作畑の面積は僅少にして農業經營上よりも多くの畑を必要とするに加へ、開墾地に對する煙草耕作法も研究せられ、優良葉煙草の生産容易となりたるを以て年々開墾を獎勵し、之れが爲め耕地面積増加し農家經濟を利益しつ、あること妙しとせず。

耕作の獎勵

本郡は試作當初の未だ微力なる時代より比較的餘裕ある郡豫算を編成して耕作獎勵の實行に用意したるなり。

本項獎勵は實質的指導機關の設置並びに充實、各産地の視察等の如き事項を除きて、郡豫算の状況によりて實行したる助勢的事業の概況を記述することとせり。

而て本郡が主催し、また後援の立場に於て實施したる著しきものを大別して一、煙草耕作展覽會 一、葉煙草共進會 一、郡内業蹟共進會の三とす。郡内業蹟共進會は葉煙草共進會を開催したる年次を省きて耕作地に編入されし以來實行したるものにして回を重ねること五回にして、その方法は又同一ならず、時代の状況に對應して個人を多く表彰し、亦個人を少なくして團體を多くし、或は進歩の速達を圖るために進歩賞を加へ、婦人部の活動を振起するために婦人部の表彰を行ひたる等、願れば水鳥の足に閑なきが如く速しき思いである。

この業蹟共進會は當時の受賞者の氏名をのみ録して、各回の状況記述は之を省略す。

專賣局並びに縣聯合會より斯業獎勵のために表彰されたる郡内の榮譽者を項末に録して、茲に産地の感激を永遠に貽さむとす。

耕作展覽會は、岡山縣下の米國種煙草の耕作が大正十四年に和氣郡、同十五年に邑久郡、昭和四年に淺口郡、同五年に兒島郡の順に開始して日尙ほ淺く反別の如き寥々たるものにして、而も成績は遅々として著しい進歩も見ず。時は恰も不況の風が吹き初めて各種農産の上に無慘な結果が見ゆることとなり、この狀勢は亦明白に今後を脅威するもの、如く豫想せられ、當時の農村は月を經、年を重ねる毎に不振の底に喘いでゐた。その結果として先づ安定有利なりとする煙草作に着眼して要望の氣運が盛に動いてゐたこと、一衣帶水の地なる香川縣は耕作の開始年次を本縣と同じくしてゐるに拘はらず、その成績は頗る良好で年一年と躍進を續けつゝあることに省て、縣聯合會に於ても對策の必要を感じ展覽會の開設を提示され、本郡が直ちに賛同して縣下米葉の上に一大轉機を造つて改良に邁進せんと決したことに端を發したのである。展覽會の規模結構は縣聯合會より支出の一百圓を基本としたものにして、極力贅費を排し内容の充實を計ることゝしたり、その方法は縣下各町村より優良と認むる耕作者を選定し、之を標準者として昭和五年に於て耕作せし圃地の土壤、之に施用したる各種肥料の實物、代表的幹根、各自生産の葉煙草を陳列し之に耕作の事蹟と耕作方法の概要を記載せる一覽表を掲示し、彼我對照して自由に研究し得るようになし、尙場内に米國產葉煙草、内地葉各種、縣外の優良米葉、耕作上の參考品、圖表、發明品等百餘點を羅列して資料に備へたり。

會場を岡山地方專賣局牛窓出張所構内とし、時、昭和五年十二月十四日、十五日の二日間にして、幸ひに好天に恵まれ觀衆約三千人が會場に打ち寄せたる盛況にして、當時耕作人員の三倍にして以て當時の狀況を察するに余りあり。斯して本會は意義深く多大なる効果を收めて閉場したり。(標準者別の事蹟並に耕作概要別表の如し)

◎ 共 進 會

煙草産地に對する當局の熱切なる指導と鞭撻に依つて耕作技術も大いに更まり、従つてその成績も漸次向上に趣き、各種の獎勵施設も亦預つて効を齎し郡内に於ける生産上の缺點を著しく補正することを得たり。然れども尙ほ前作關係等による劣等生産の減少を意の如く計ることを得ず、各町村間並びに個人間に於ける成績頗る開差を生じその平均に於ては結局顯著なる進歩を示さず。茲に一般苦慮したると、一面打ち續く比年の不況に耐えかねたる農村は一つに煙草作に大なる希望を有し増段、擴張に奔命して其の筋より増加を認可されたるものは先づ舊來者の既得權なりとして割増しを主張し、新規耕作者の發生は容易ならざる状態なりき。

當時專賣局に於ては所要の生産即ち改良の急速達成を標示され、この改良の成否は總て産地の伸否を約束するものゝ如き状態に直面したると、全國的に煙草作要望の旺盛なる時に於て最も有力に産地の希望を主張し、目的を達せんとせば先づ生産品の改善を期するにあり、寧ろ道は近きにありとして郡内一致の聲は遂に、昭和七年作を以て葉煙草共進會を開催し一舉に生産の上に革新を加へ、産地の擴張に備ふると共に現下農村の窮乏に處せんとしたるを動機とし、時は、昭和七年四月郡聯合組合の豫算編成に於ける評議員會當時の決意なりとす。

爾來共進會の開催に關しては各方面に對する了解及び支援方の懇請、亦具体化に對する大小諸般の工作並びに諸整備に多數の日子を費し、又之が完成には各方面より多大なる煩勞を寄せられたることを附記して感謝の意を表す。

尙ほ本共進會の審査長に中央澁谷技師を拜戴したることは洵に光榮とする處にして、永くその榮譽を語り且つ感謝の意を表するものなり。

邑久郡聯合 岡山縣米國種第一回葉煙草共進會の概況

組合主催

會場

岡山地方專賣局牛窓出張所構内

會期

昭和七年十一月 自十五日 至十六日 二日間

出品

和氣郡六ヶ町村三十一點、邑久郡九ヶ町村二百五十四點、兒島郡十二ヶ町村九十七點、淺口郡十三ヶ町村百三十三點、小田郡四ヶ町村十點、吉備郡二ヶ町村五點、眞庭郡一ヶ町村一點、計七郡四十七ヶ町村五百三十一點、量目は一點各五百瓦にして總量目二百六十五冠五百瓦

參考品

(鹽の部)

圖表二枚、寫眞(額)七枚、標本鹽(内地鹽、輸入鹽)十一個、副産物六個、

以上本局より貸與

鹽の用途一枚、鹽業之趨勢(全國と岡山管内とに區別)圖表二枚、食鹽製造並に副産物利用統計圖一枚、

以上牛窓出張所出品

(樟腦の部)

圖表四枚、寫眞(額)三枚、カビネ型台紙付三十三枚、

以上本局より貸與

樟腦油白、赤、藍、三瓶ビツチ一個

精製樟腦各種五瓶、カタログ一部、葉一部、加工品數種、

以上再製樟腦株式會社より寄贈

樟腦の行衛一枚、セルロイド生地製造工程一枚、

以上牛窓出張所出品

(煙草の部)

水府葉、出水葉、達磨葉、備中葉、作州葉、日野葉、外國産五把各標本、管内米葉反收番附一枚

以上岡山地方局より出品

米國種苗の號數圖、心止期の生育狀態圖、適植苗圖、乾燥經過圖六枚、本米産地の寫眞十枚、

本米産地の土壤三瓶、本米葉標本六把、

以上秦野試驗場より貸與

民製刻、卷煙草の包裹(明治初年以來よりのもの)各種台紙に貼付三十三枚、登録済み「マッチ」の商標一枚、台紙に三十枚位貼付のもの二十九枚、並に一頁二十枚位貼付したるものを八十頁一冊とせるもの三冊、

- 以上岡山市難波町露野印房氏出品
- 乾燥用鉄管模型各式別に六組
- 以上大阪府南河内郡南出鉄管製作所出品
- 懸吊作業椅子一個、肥料攪拌器一個、畦間測定器、株間測定器、
- 以上大宮村出品
- 照明燈一個
- 以上鹿忍町出品
- 石炭投入間隔指示時計一個
- 以上朝日村出品
- 拔根器
- 以上牛窓町出品
- 聯繩製造器一個
- 以上長濱村出品

圖表

諸統計、試験成績、肥料成分、病虫害に關するもの、煙草需用の狀勢に關するもの、全國に於ける生産の現狀等之れが表現には地圖を示し、或は注目され易く工風し、繪畫に字体に意を用ひ、又テープを以て實物と連絡を取るも

の等、長さ八間の垂木に両面全部に体裁よく張り込みて吊上げ、下長さ八間の机に沿はしむるものを二通りに仕上げ、總延長三十二間となる、而て換用紙四十枚、畫用紙三十三枚、計七十三枚

以上牛窓出張所出品

其他約二十枚は耕作教師及各町村より出品せるもの

陳列

葉煙草を本館とし六間に十二間を畫し、參考館は本館と連続して六間に十二間を畫して煙草耕作に關するもの及鹽、樟腦に關する實物、寫眞、統計、圖表、其他耕作要品の發明品及專賣事業に關する諸品を陳列せり。

附設

岡山地方專賣局にては共進會を利用され、會期の初日耕作に關する活動寫眞會を開催され、又翌十六日褒賞授與式後式場跡にて澁谷技師の耕作に關する大講演會を開催せられ、滿堂約二千の聽衆に多大なる感動を與へられたるは共進會に一段の光彩を加へられたるのみならず耕作改良上裨益する處多かりき。其他牛窓町耕作組合、牛窓町商工會、朝日村、大宮村等より余興の提供ありて十五日午前十時より午後五時迄万歳、手踊、琵琶、淨瑠璃、手品等を連続して行はれたり。尚朝日村、大宮村より共進會の開設を祝し且つ成功を期する意味に於て煙火の提供ありて十五日晝夜、及十六日の晝間連續して打ち揚げたり。

會場所在地綾浦部落の有志にては共進會に盛況を添へんため會場附近に動物園、芝居等を興業せられ共進會の縦覽者に無料及半額觀覽を提供さる等遠來者に對し歡待の意を表せられたり。

縦覧の状況

十五日入場者五千入、内小学校(隣接町村)生徒千人、婦人部實行團員千二百人等他は耕作關係者並に町内の男女なりき。十六日入場者數四千入、内小学校生徒五百人婦人部實行團員約五百人を主なる團體として他は他郡の耕作關係者多かりき。共進會は耕作希望旺盛なる時期なりしと煙草作に對し地方各種團體の理解充分なりしを以て頗る好感を以て迎へられ豫想以上の盛況を見たるなり。

褒賞授與式の状況

日時 昭和七年十一月十六日午前十時

場所 岡山地方專賣局牛窓出張所構内

舉式の順序

- 1 出品者着席
 - 2 來賓着席
 - 3 開式の辭
 - 4 事務報告
 - 5 共進會長式辭
 - 6 審査報告
 - 7 褒賞授與
 - 8 知事告辭
 - 9 專賣局副賞授與
 - 10 專賣局長官告辭
 - 11 地方專賣局長祝辭
 - 12 來賓祝辭
 - 13 受賞者答辭
 - 14 閉式の辭
- 以上
- 受賞者 一等五人 二等二十五人 三等五十人 四等百二十人 計二百人
- 專賣局副賞一等五人

賞品名價格 一等 銀盃(縣) 一箇一〇圓
火鉢(共進會) 一對七圓二〇錢
二等 火鉢(共進會) 一對四圓六五錢

三等 二段重箱(共進會) 二圓七〇錢

專賣局副賞置時計 一箇一〇圓

來賓 縣官、地方專賣局幹部、地方局員、縣聯合會幹部、各郡聯合組合長、各町村組合長、牛窓町會議員、牛窓町商工會役員、町村組合技術員、其他所在地官衙學校有志者、地方局内出張所長、派出所主幹、外に遠路を應々御臨席されたる廣島地方局鑑定課長、坂出地方局鑑定課長等約二百人とす。

祝辭

岡山地方局長、坂出地方局鑑定課長、縣聯合會長、中塚淺口郡聯合組合長、守安玉島町長、小橋牛窓町長、高祖牛窓町商工會長、木村豊原村長等とす、其他祝電多數ありき。

式は午前十時より終始最も靜肅に行はれ、就中受賞者並に出品者の感激は高調に達し、時に急激の如き拍手を以て各節に進行する壇上の變化に答ふる等、滿堂和氣に包まれて午後一時終了し、終了後來賓並に出品者五百人に晝食及び記念品を贈呈し散會したり。

附記

所在地牛窓町にては本會の開設に頗る好感を以て達成に關し直接間接に多大なる援助を與へられ、協贊事業としては町會一致を以て共進會豫算内に百圓を寄附し、又出張所門前道路は從來三尺巾にして交通不便なりしを町には此の機會に二間中に擴張し體裁を整へ、且つ交通に便宜を與へられたり。

耕作組合にては會場入口(縣道)に大綠門を造り、町内道路の修繕、掃除、点燈、裝飾、會期中會場内外の清掃作業、十四日より十七日に至る晝夜の警備殊に會場は夜間三十分交替に巡視を請持つ等、牛窓町の耕作者は各々日取を

り定めて多くの勞力を提供された。

經費としては國旗八千枚、紅白布、綠門、其他材料代及晝食辨當代等にして多額の金圓を支出して奉仕されたり。牛窓町商工會にては自十四日至十七日四日間、岡山、牛窓間を基準として船賃、自動車賃の割引(約二割)を實行され亦各商店に對しては販賣物品等の割引、宿料其他飲食物に對しては親切と薄利を以てすることに協約せしめられ又余興全部の統制をなし之れが準備、交渉設備、片付等を提供され多額の經費を投じて直接間接に多大なる支援を與へられたり。

入賞者氏名左の如し

岡山縣米國種第一回葉煙草共進會受賞者名簿

一等	邑久郡大宮村	出射多津次	二等	邑久郡鹿忍町	福江喜久藏
一等	同 裳掛村	今吉利平治	二等	同 大宮村	柴田清松
一等	同 同	前田與七	二等	同 同	万城光治
一等	同 同	河崎義造	二等	同 鹿忍町	柴田仁十郎
一等	同 同	山口繁夫	二等	同 朝日村	浮田菊太郎
二等	邑久郡裳掛村	井上六三郎	二等	同 大宮村	岡崎健二
二等	同 大宮村	岡崎健一	二等	同 裳掛村	山口岩之介

二等	邑久郡大宮村	岡崎利章	三等	邑久郡牛窓町	木下丈三郎
二等	同 朝日村	藤原九平	三等	同 同	森藤巖
二等	邑久郡小串村	小西由松	三等	同 鹿忍町	爲房八五郎
二等	邑久郡鹿忍町	爲房清太郎	三等	同 同	西沖春平
二等	同 裳掛村	山本竹次	三等	同 同	新地彌八
二等	同 鹿忍町	爲房平治	三等	同 同	岡崎久太郎
二等	同 朝日村	浮田石松	三等	同 同	爲房重松
二等	同 鹿忍町	爲房大吉	三等	同 同	鳴坂清次
二等	同 朝日村	藤原藤市	三等	同 朝日村	末利峻
二等	同 鹿忍町	浮田貞市	三等	同 同	成本延衛
二等	同 長濱村	小崎和平	三等	同 同	末利伯郎
二等	同 同	木村龜一	三等	同 同	植木熊次郎
二等	同 大宮村	西村暉一	三等	同 同	浮田長松
二等	淺口郡長尾町	田邊實市	三等	同 同	浮田昌平
二等	邑久郡鹿忍町	岡利一	三等	同 同	山本繁太
二等	同 同	森本文藏	三等	同 同	吉永幸太

三等	同	邑久郡朝日村	末利建太郎	三等	同	邑久郡長濱村	野口吉三郎
三等	同	同	光本惠吉	三等	同	同	廣畑益太
三等	同	同	吉永重治	三等	同	同	松尾熊一
三等	同	同	重光圓次郎	三等	同	美和村	浦上公志
三等	同	同	重光石藏	三等	同	裳掛村	山口元三郎
三等	同	同	出井始治	三等	同	同	寒河虎藏
三等	同	大宮村	小橋鶴彦	三等	同	同	山本輝太郎
三等	同	同	柴田義孝	三等	同	同	久本佐喜藏
三等	同	同	万城秋夫	三等	同	淺口郡玉島町	中塚孫次郎
三等	同	同	小橋壽吉	三等	同	里庄村	徳永國元
三等	同	本庄村	木村佐代治	三等	同	六條院村	山下喜彌太
三等	同	同	尾形繁藏	三等	同	玉島町	中塚保
三等	同	同	古武秀松	三等	同	里庄村	仁科吉平
三等	同	長濱村	尾形大三郎	三等	同	六條院村	平井傳一郎
三等	同	同	野口梶太	三等	同	玉島町	金田岩吉
三等	同	同	時實峯太	三等	同	長尾町	田邊照次郎

三等	同	兒島郡宇野町	藤原作次	四等	同	邑久郡鹿忍町	益田美太
三等	同	本莊村	六車庄吉	四等	同	同	福江傳吉
四等	同	邑久郡牛窓町	國岡種二	四等	同	同	國光幸太郎
四等	同	同	尾田靜太	四等	同	同	出射市三郎
四等	同	同	高祖操	四等	同	同	益田嘉代治
四等	同	同	山本雄吉	四等	同	同	爲房數太
四等	同	同	岡本大作	四等	同	同	爲房伴一郎
四等	同	同	岡崎十郎	四等	同	朝日村	出射孫太郎
四等	同	鹿忍町	竹田時治	四等	同	同	植木廣衛
四等	同	同	出射昌治郎	四等	同	同	成一本志
四等	同	同	柴田鶴松	四等	同	同	浮田嘉四藏
四等	同	同	柴田久太郎	四等	同	同	片岡住藏
四等	同	同	出射龜太郎	四等	同	同	今中永三郎
四等	同	同	尾上徳藏	四等	同	同	光本彌平次
四等	同	同	樂前勘三郎	四等	同	同	高平千代吉
四等	同	同	爲房慎一	四等	同	同	海野正市

四等	同	浮田佐市	四等	同	豐田宇三郎
四等	同	山崎淺次郎	四等	同	光本喜太郎
四等	同	今中喜代次	四等	同	藤本爲吉
四等	同	浮田國衛	四等	同	重光米多
四等	同	吉永糸藏	四等	同	出射繁太
四等	同	小橋覺	四等	同	小橋又吉
四等	同	片岡淺治	四等	同	岡本加須美
四等	同	植木喜三治	四等	同	宮本長三郎
四等	同	在本九十郎	四等	同	岡崎仲治
四等	同	成本政治	四等	同	梶原章
四等	同	在本確	四等	同	木下政太郎
四等	同	岡田慶一	四等	同	尾形太郎藏
四等	同	小笠原數衛	四等	同	武道淳二
四等	同	吉永庄介	四等	同	木村農夫治
四等	同	吉永勝太	四等	同	小林一治
四等	同	今中義衛	四等	同	中島喜代藏

四等	同	宗時勇一	四等	同	河崎鏡衛
四等	同	馬場勘二	四等	同	松本滿一
四等	同	田村繁樹	四等	同	内田小三治
四等	同	宗時豪	四等	同	河崎幸太郎
四等	同	馬場玉三郎	四等	同	山口政治
四等	同	岡部種治	四等	同	野吹律治
四等	同	小林正夫	四等	同	木村茂
四等	同	有本岩男	四等	同	有吉英一
四等	同	三浦包二	四等	同	竹内杉衛門
四等	同	近藤丸太	四等	同	金谷磯吉
四等	同	大森正明	四等	同	淺原喜代志
四等	同	久本荒助	四等	同	岡本得次郎
四等	同	内田松治	四等	同	白神菊次
四等	同	中島秋三郎	四等	同	三好秋次郎
四等	同	山本康治	四等	同	中塚鉄次郎
四等	同	中島園次郎	四等	同	西山五郎吉

四等	淺口郡玉島町	瀧澤里松	四等	淺口郡大島村	田中諭一
四等	同 長尾町	田邊定一	四等	同 長尾町	田邊權一郎
四等	同 同	平井七太郎	四等	兒島郡胸上村	長畑齊
四等	同 六條院村	遠藤鉄五郎	四等	同 琴浦町	石井辰藏
四等	同 同	遠藤國一郎	四等	同 本莊村	塚本忠吉
四等	同 同	北殿龍吉	四等	同 銚立村	中田安太郎
四等	同 同	川手倉二郎	四等	同 福田村	鳥越富治
四等	同 里庄村	秋田吉志造	四等	同 同	鴨井筆一
四等	同 同	仁科万右衛門	四等	同 同	三宅壽太郎
四等	同 同	西山和平	四等	吉備郡穗井田村	鈴木千次郎
四等	同 同	仁科正一郎			
四等	同 富田村	中川智恵三	計	二百人	
四等	同 金光町	平井増吉			
四等	同 黒崎村	石橋定八			
四等	同 鴨方町	岡田松一			
四等	同 同	横山重太郎			

第一回の共進會は産地に多大なる刺戟と自奮の動機を興へ、翌八年以降の耕作に當つては目覺ましく改良に前進し、實行團の活動は更らに婦人部の活躍を加へ、又各處に壯年部、青年部等をも附隨して煙草作の前途は洋々として多忙を極め、地方の注目と大なる期待の中心をなすに至れり。本郡としては漸く太伯村の一ヶ村を興起したのみなるも縣下としては多數の町村が産地として進出するに至りたるなり。

然るに自然の悪戯乎、偶々昭和八年、九年は稀有の大旱魃にて痛くこの氣勢に打撃を興へられ、經濟上維持力に乏しきも、逐次後退するの已むなきに至りしは返すも遺憾なりき、併し郡内に於ける輪廓としては更らに停顿する處なく力闘を續けて一路適應品の生産と收入の増加に邁進したるなり。

昭和十年は邑久郡に於ける煙草作十ヶ年目に於て、耕作上記念すべき劃期的當年たるを以て次の如き標旗の下に第二回葉煙草共進會は早くより豫定されたるものなりき。

- 一、本郡の耕作も十ヶ年に達し耕作地としては安定したものである、耕作者も浮草の様に根取がなくてはなりません、賠償金の多少でぐらくする様では、たよらないことであるから根どりを深くして動かない様にすること。
- 一、耕作者は凡て足並が揃はないと成績があらぬから皆んな元氣を出して和親共榮を目標として進んでほしい。
- 一、耕作法、乾燥法、其他調理、保存等何れも改良の餘地がありますから油断なく共同研究をつとけてほしい。
- 一、産品の販賣には心配なく、自己の骨折りと注意には報いらるゝことは間違ひなく、所謂收入の安定してゐるものは外にはない、其の代り注意もせず骨折りもせず自然まかせのやり方であつたら何の得物もない。
- 一、耕作の準備に欠ぐる所なく、夫々の作業につき手おくれなき様に努むること、例へば堆肥の製造、苗の育成、中耕

土寄せ、芽かき等決して手おくれしてはならぬ。

一、収入を見込んだ無駄づかいは、いかぬ、投機心を以ての耕作はいかぬ。

明治天皇の御製に

この秋は、雨かあらしか知らねども

おのが勤めに田草とるなり。

土と太陽によつて營む農産殊に煙草耕作者は此心持ちが最も必要であり、又天氣を克服する元氣がなくてはならぬ。一、本年は十周年記念事業として縣下米國種の葉煙草大共進會を開きますから、腕をみがいて萬事に注意して優良品の出品をされねばならぬ、前回よりは反別も多く郡も倍數以上となつて居ります。

邑久郡煙草耕作聯合組合主催、岡山縣米國種第二回葉煙草共進會は斯して開催の運びとなり、その規模結構は素より第一回の比にあらざるも方法は凡て第一回のものに準據して行ふこととし、こゝに特筆すべきは本回も第一回と同様審査長に中央澁谷技師を拜戴することを得たるは洵に光榮を感じるのみならず、當産地撫育の恩師として因縁淺からぬこゝに永く感謝の意を捧ぐるものなり。

會 場

岡山地方專賣局牛窓出張所構内

會 期

昭和十年 自十一月三十日 二日間
至十二月一日

葉煙草出品

邑久郡十ヶ町村二百四十六点、和氣郡七ヶ町村三十一點、兒島郡十五ヶ町村七十五點、御津郡七ヶ町村三十九點、小田郡十ヶ町村五十一點、吉備郡三ヶ町村二十一點、淺口郡十二ヶ町村百五十二點、後月郡六ヶ町村五十四點、上房郡一ヶ町村四點、久米郡九ヶ町村五十一點、眞庭郡一ヶ町村七點、計十一郡八十一ヶ町村七百三十一點、量目は二把を一點とし五百瓦にして計三百六十五冠五百瓦

陳 列

構内葉煙草收授所を本館並に参考館に充て、葉煙草陳列を本館として六間に十二間を畫し参考館に連絡せしむ。参考館は六間に十二間を畫して周圍三方に高さ二尺三寸幅二尺の陳列臺及中央に同一の陳列臺長さ六間を二筋に並べ、上部に長さ六間の竿を二通りに吊るし之れに圖表、繪畫類を各兩面に掲載す。

参考品は別記目錄の通りにして專賣局、中央研究所、各地方局、試験場、出張所等の貸與品にて貴重なる研究發表及諸統計等煙草耕作に關するものを主とし、更らに鹽、樟腦に關する專賣品の實物標本、寫眞、統計、圖表其他專賣事業に關する諸品を順序よく双方より見易く陳列し、尙耕作者より出品せる耕作要品の改良せるもの、亦發明品、堆肥舎の模型に圖面設計書付等を以て館内を埋む。

參 考 品

岡山地方專賣局出品

一號 土耳其葉の標本

台紙付上部セロハン紙張、大九枚、小一枚、計十枚

二號 病害圖表

病苗及病葉部縮圖寫生圖にして各病害部の顯微鏡描寫圖、病苗五枚、病葉三枚、計八枚

三號 内地葉の標本

台紙張付上部セロハン紙張、計二十枚

四號 米葉標本

岡山地方局外十地方局米葉參考標本

二把入セロハン紙袋、計二十二把

五號 備中葉作州葉標本、計四把

秦野試驗場出品

1 煙草耕作參考圖表(模造紙大五枚)

(イ)煙草種子成熟經過圖 一枚

(ロ)黄色煙草乾燥經過圖 三枚

適熟葉

黃變期終了

乾燥終了

(ハ)煙草苗生育經過圖 一枚

2 產地土壤標本 瓶入 三点

(イ)新產地土壤 北カロライナ洲ウイルソン

(ロ)中產地土壤 北カロライナ洲オックスフォード

(ハ)舊產地土壤 ヴァージニア洲ダンヴァイル

3 鹽腦見本

瓶入 二十一点

專賣局岡山試驗場出品

標本

一、煙草主要害虫 管瓶入 二個

害虫をアルコール漬試験管入となし足付き甕板に一見し易く試験管入標本を順序よく結束せるもの

(イ)夜盜蟲發育順序 一

(ロ)煙草主要害虫 一

二、土 壤 管瓶入 十四組

含有物を區分し試験管入となし足付き甕板に一見し易く結束せるもの

(イ)專賣局岡山試驗場 表土 一 底土 一

- (ロ)岡山縣邑久郡長濱村 表土 一 底土 一
- (ハ) 同 鹿忍町 同 一 同 一
- (ニ) 同 大宮村 同 一 同 一
- (ホ)廣島縣豊田郡舟木村 同 一 同 一
- (ヘ)愛媛縣邑智郡岡山村 同 二 同 二

三、灰類標本 管瓶入

仕組 一、二に同じ

(イ)煙草肥料灰類 説明書附

(ロ)各種類煙草殘幹灰 説明書附

四、煙草の根 箱入 一個

正面硝子四方板張箱入となし實物煙草根の土壤を拂ひ、良、不良、惡の三標本を後板に結束せるもの
五、アルコール瓶入り煙草苗 五瓶(小四箇 六一箇)

(イ)煙草苗 一番間引

(ロ)同 二番間引

(ハ)同 三番間引

(ニ)同 四番間引

(ホ)移植苗 (大瓶入)

六、堆 肥

左記各地方局管内代表的堆肥(本圃用)

(イ)岡山試験場使用のもの 一

(ロ)大阪地方局管内のもの 一

(ハ)岡山地方局管内のもの 一

(ニ)廣島地方局管内のもの 一

(ホ)坂出地方局管内のもの 一

(ヘ)徳島地方局管内のもの 一

七、病虫害

アルコール大瓶詰 十二個

(イ)白絹病

(ロ)根腐病

(ハ)立枯病

(ニ)疫病

(ホ)線蟲

- (ハ)空胴病
- (ト)モザイツク病
- (チ)紫ホコリカビ
- (リ)チャワンタケ
- (ヌ)亞硫酸瓦斯の害
- (ル)加里欠亡症
- (ヲ)夜盗虫

八、圖 表

模造紙大 十六枚

- 一、煙草病菌と土壤反應
- 一、煙草病菌と生活溫度
- 一、藥劑混合適否表
- 一、煙草病害の圖 二枚
- 一、内地產米葉成分表
- 一、土壤化學的性分表
- 一、母木適熟期

- 一、降水量
 - 一、堆肥材料百貫中の割合
 - 一、月平均氣溫表
 - 一、米葉の平均的組織表
 - 一、各種堆肥成分表
 - 一、煙草の耕作反別現勢表
 - 一、土性分類圖
 - 一、米國種主要產地日照時間比較
- 九、煙草に關する寫眞
- 試驗場に於て撮影せるものにして
- 一、觀賞用煙草
 - 一、苗床より成熟期に至る各種作業實況
 - 一、收穫狀況等
- 台紙(模造紙半裁大)四枚に實況寫眞四十六枚張り
- 專賣局中央研究所出品
- 一、米國に於ける煙草耕作狀況の寫眞

一尺、一尺五寸角大台紙付、

開墾状況、播種、苗機械移植、耕耘状況より收穫迄及葉煙草の競賣市場に於ける市場及競賣状況 十六枚

二、岡山地方專賣局管内米國種產地土壤標本

代表土壤採收地毎に土質を區分管瓶入となし一組をニス塗木箱となし蓋の表裏に採收地名及氏名を掲記せるもの
十八箱

三、岡山地方專賣局管内煙草肥料用灰類標本

木箱に仕組み蓋の表裏に種類區分掲記し管瓶詰となせるもの 三箱

四、煙草肥料用灰類に關する調査

第一報

第二報

第三報

各一部

五、岡山地方專賣局管内煙草肥料用灰類の主成分

含有量表 一枚

耕作者出品参考品

一、柴田式煙草拔根機

邑久郡大宮村 柴田 義孝

一、葉煙草(石灰窒素被害葉)標本

邑久郡大宮村 中西 實行團

一、堆肥舍模形及設計圖附

邑久郡大宮村 千手 青年團

以上

專賣局出品

一號 米國產黃色煙草 セロハン紙袋入

二號 支那產米國種 同

三號 馬尼刺葉ユニオン種 同

四號 馬尼刺葉イザペラ種 同

五號 印度葉 同

六號 ハバナ葉 同

七號 ホワイトパーレー葉 同

八號 土耳其葉 數十枚を竹にて挿みたるもの

九號 スマトラ葉 セロハン紙袋入

牛窓出張所出品

- 一、町村別最高一反歩當賠償金比較表
- 二、昭和十年產町村別收納實蹟表
- 三、町村別出品点数及入賞數表
- 四、最近口付煙草製造高表
- 五、最近兩切煙草製造高表
- 六、最近葉卷煙草製造高表
- 七、岡山縣下郡別製造煙草賣上高表
- 八、最近輸移入葉煙草買受高表
- 九、最近輸移出葉煙草賣渡高表
- 一〇、葉形區分
- 一一、十ヶ年間耕作煙草種類變遷
- 一二、岡山縣下口付製造煙草賣上高表
- 一三、煙草の別名
- 一四、地方局別五ヶ年收納實蹟表
- 一五、製造官署別製造種類名一覽
- 一六、岡山縣米國種產地圖

- 一七、專賣局煙草產地圖
- 一八、煙草標準耕作概要
- 一九、昭和十年氣象對煙草作柄

以上とす

附 設

岡山地方局の了解を得て共進會を利用し、褒賞授與式の終了後式場跡にて(十二月一日)澁谷技師の大講演會を開催し滿堂約二千人の聴衆に多大なる感興を與へられたり。

其他牛窓町耕作組合、牛窓町商工會よりは餘興を後援されて初日十一月三十日午前九時より午後五時迄万歳、浪曲、寸劇等を構内假余興場にて行ひ、尙期間中二夜は牛窓町美奈登劇場に於て活動寫眞會を催し無料觀覽券二千枚を發行して非常なる人氣を呼びたり。

尙會場所在地綾浦に於ては牛窓町耕作組合と共同して會場附近に「アーチ」を作り万國旗を以て町内を裝飾し遠來者に對して歓迎の意を表し、又會場内の一劃に特に町商工會より特産物の即賣店並に模範煙草小賣店を設置し、産地一圓を得意とする肥料店は倉庫庇下一面を裝飾して各種肥料、苗育布、其他耕作要品を陳列したために場内は一段の美觀を添えたり。

縦覽の狀況は第一同様豫期の入場數を見たるも、翌十二月一日は夜來より稀なる荒天に襲はれ會場は甚大なる被害を蒙るならんと痛心惜く能はざりしが幸ひに、午前九時頃より靜穩に復し他郡産地の多數團体は陸路及び海路の危険を冒して殆き豫定方面全部の上陸を見たるは實に倖なりき。此の間海上の危急を報するあり、亦風雨中を上陸後會場迄の往復に對

する處置等一時牛窓埠頭の混雜と共進會の窮狀とは到底名狀すべからざるものありたるなり。斯して萬事を臨機の措置に決したるも何等異狀もなく豫定の開場を見亦觀覽者は寧ろ前日より以上の熱心を以て縱覽し、二日間に於て約四千人の入場者數なりき。

授與式

授與式の形式其他悉く第一回到則る。來賓は二百七十名、受賞者並びに邑久郡實行團長、總代等約六百五十名、にして立錫の余地もなく場内は縣下耕作の代表的人士約千名を迎へて一大壯美の感を呈したり。又壇上より「マイク」を通ずる演聲は朗々として拍手に相和し、本共進會は多大なる成功を收めて終了を見たるは午後一時四十分。當日十周年を記念のため左の諸氏に感謝の意を表したり。

- 小橋 藻 三衛 定 本 六 二
- 和田 次 平 坂 本 關 藏
- 田 邊 亨 市 川 彌 會 太
- 渡 邊 正 一 入 江 鉢 郎
- 樋 口 信 二 坂 本 太 郎 藏
- 有 森 澄 太 浦 上 公 志
- 村 上 德 治 木 下 竹 藏
- 林 甚 八 中 村 正

- 小 林 壽 太 光 延 相 三 郎
- 小 橋 廣 衛 延 原 與 一
- 岡 本 專 次 郎 井 上 關 次

以上二十二名

受賞等級 一等七人 二等二十五人 三等六十五人 四等百五十人 計二百五十七人

專賣局副賞一等七人

賞品名 一等 本賞銀盃、共進會火鉢壹對
專賣局副賞吸物椀十客分

二等 共進會 會席膳五客分

三等 共進會 重箱一組

本共進會は邑久郡十ヶ年の棹尾を飾るものにして後來の參考に資し、亦産地の振展向上に備ふるため澁谷閣下の審査薦告文を録して本項を止む。

薦 告

茲ニ岡山縣邑久郡煙草耕作聯合組合主催岡山縣米國種第二回葉煙草共進會審査終了ヲ告ゲ本日ヲトシ褒賞授與ノ式典ヲ舉行セラル、ニ當リ本官芝シキヲ審査長ニ承ケ審査ノ概況ヲ報告スルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ。

抑モ本會ノ出品ハ縣下十一郡八十三ヶ町村ニ涉リ其ノ點數七百三十一點ノ多キニ達シ之ガ審査方法ハ素質、色澤、成形、乾燥、調理ノ各項ニ區分シ審査員ト共ニ反覆精査ヲ遂ゲ就中優良ト認ムルモノ一等賞七點、二等賞三十五點、三等賞六十

五点、四等賞百五十点ヲ選拔擬賞シ既ニ閣下ノ裁定ヲ經タリ今審査ノ成績ニツキ概評ヲ試ミ聊カ當業者諸士ノ參考ニ供セントス。

本年ハ苗床期ノ天候大体良好、移植ハ平年ニ比シ若干進ミタルモ爾後旱天連續ニ加ヘ急激ナル氣温ノ低下等ニ依リ一時生育ヲ阻害セリ。然ルニ五月中旬以降時々降雨アリテ生育ヲ挽回シ土、中葉ノ開張ヲ良好ナラシメタルモ、六月上旬ニ於ケル暴風襲來並ニ同月下旬ヨリ七月上旬ニ涉ル頻繁ナル降雨ト其後ニ於ケル旱天連續トハ收量品質ニ著シキ惡影響ヲ及ホシタル等煙草耕作上幾多ノ障害アリシニ拘ハラズ出品物中ニハ優良品乏シカラズ就中國産米葉トシテ恥シカラザルモノ、生産尠ナカラザリシハ實ニ當産地ノ誇リトスル所ナルベシ、尙從來素質不良ニシテ用途上支障多キモノ、生産ヲ減少シ改善進歩ノ跡歴然タルモノアルハ洵ニ喜ブベキ現象ト謂フベシ之全ク縣、郡、町村當局ノ鞭撻ト當業者ノ自奮自動トニ依リ銳意耕作ノ改良ニ努力セラレタル結果ニ外ナラズト信ズ。

然レドモ今之ヲ通觀スル時ハ耕作肥培其ノ他ニツキ今後改善ヲ要スベキモノ又尠カラザルヲ覺ユ其ノ主ナル点ヲ指摘セバ移植ニ當リ良苗乏シキモノ、肥培ノ時期方法ヲ愆リテ作柄ヲ遅延セシメタルモノ、收穫ニ方リ早取ヲ行ヘルモノ、乾燥ニ際シ過剩水分ノ排除及温度ノ調節ヲ愆リタルモノ、貯藏ノ適切ヲ缺キ品質ヲ低下セシメタルモノ、調理ノ完全ナラザルモノ等アリ、要スルニ米國種ニ對シテハ葉肉充實シ中支骨纖小鮮麗ナル色澤ト香味ノ豊富ナルモノヲ賞美シ且ツ生産品ノ統一ヲ要望セラル、ヲ以テ之等ノ諸点ハ特ニ注意ヲ要スルモノト認ム。由來本縣ハ其ノ氣候土質ニ於テ此ノ種煙草ノ栽培ニ好適ノ地尠カラズ當業者宜シク此ノ点ニ鑑ミ益々發奮努力シ耕作法ノ改善ヲ圖リ以テ優良品ノ産出ニ努メラレンコトヲ望ム。

右審査ノ概況ヲ具シ謹テ褒賞授與アラシコトヲ申請ス

昭和十年十二月一日

岡山縣米國種第二回葉煙草共進會

審査長專賣局技師從四位勳四等 澁谷正良

入賞者氏名左の如し

岡山縣米國種第二回葉煙草共進會受賞者名簿

一等	淺口郡六條院町	北殿作一	二等	淺口郡富田村	木下辰吉
一等	同	北殿竹與	二等	同 六條院町	北殿忠夫
一等	同	北殿末造	二等	同 富田村	畑本角一
一等	同 鴨方町	藤原長一	二等	邑久郡朝日村	重光圓次郎
一等	同 富田村	赤澤功	二等	小田郡城見村	坂本豊一
一等	邑久郡長濱村	時實逸郎	二等	邑久郡長濱村	宗時豪
一等	淺口郡六條院町	北殿逸次	二等	淺口郡富田村	赤澤勝治

二等	淺口郡長尾町	田邊源太郎	二等	淺口郡里庄村	小野重太郎
二等	同 六條院町	北殿林次	二等	邑久郡長濱村	祇園安吉
二等	小田郡金浦町	塚本兵平	二等	淺口郡大島村	花房玉介
二等	兒島郡福田村	赤澤長五郎	二等	邑久郡朝日村	藤原六郎
二等	淺口郡六條院町	黒川晋松	二等	同 裳掛村	中島園次郎
二等	同 大島村	三木良助	二等	同 大宮村	西村徳治
二等	同 同	下原甚助	二等	同 鹿忍町	福江喜久藏
二等	同 富田村	三門儀平	二等	同 牛窓町	大倉玉二
二等	邑久郡長濱村	松尾熊一	二等	淺口郡鴨方町	西山春太郎
二等	同 裳掛村	寒河秋治	二等	邑久郡朝日村	今田平吉
二等	同 長濱村	廣畑敏太	二等	兒島郡福田村	安原壽太
二等	同 同	岡野覺太	二等	淺口郡里庄村	佐藤作次郎
二等	吉備郡穂井田村	中島關二	三等	淺口郡富田村	三門淺次郎
二等	同 同	岡 榮	三等	邑久郡朝日村	植木熊次郎
二等	淺口郡鴨方町	井上信一	三等	淺口郡六條院町	高田坂一
二等	同 里庄村	徳永國元	三等	邑久郡長濱村	宗時勇一

三等	吉備郡穂井田村	三谷忠藏	三等	邑久郡大宮村	西村美穂一
三等	邑久郡裳掛村	山佐芳市	三等	淺口郡黒崎村	中塚夏次郎
三等	同 大宮村	西村三四	三等	吉備郡穂井田村	岡 虎二
三等	吉備郡穂井田村	谷口竹治	三等	邑久郡牛窓町	森藤京一
三等	淺口郡鴨方町	小野眞壽吉	三等	吉備郡穂井田村	中島忠一郎
三等	同 富田村	平井政治	三等	淺口郡金光町	河田龜太郎
三等	同 同	坂本頼雄	三等	同 大島村	仁科増四郎
三等	同 鴨方町	永原宗光	三等	邑久郡裳掛村	河崎幸太郎
三等	同 大島村	花房 薫	三等	同 長濱村	出射四郎治
三等	吉備郡穂井田村	谷口曆夫	三等	同 鹿忍町	宇野政治
三等	邑久郡裳掛村	井上六三郎	三等	淺口郡黒崎村	平田茂太郎
三等	同 朝日村	出井始治	三等	邑久郡本庄村	藤森嘉太郎
三等	同 玉津村	若本幸一	三等	淺口郡六條院町	清水高一
三等	兒島郡小串村	井奥五郎治	三等	邑久郡朝日村	藤原哲太
三等	邑久郡鹿忍町	益田嘉平治	三等	同 長濱村	山本末太
三等	淺口郡里庄村	岡本金造	三等	同 裳掛村	河崎光次

三等	淺口郡大島村	島村	匠	三等	淺口郡長尾町	田邊	實市
三等	同 里庄村	佐藤	熊平	三等	邑久郡本庄村	國光	淺治
三等	邑久郡本庄村	藤森	梶平	三等	小田郡城見村	松浦	澤藏
三等	同 朝日村	重光	石藏	三等	邑久郡長濱村	小玉	万吉
三等	淺口郡鴨方町	横山	寶逸	三等	同 裳掛村	松本	助治
三等	邑久郡朝日村	吉永	証一	三等	同 同	片山	久三郎
三等	同 裳掛村	中島	秋三郎	三等	同 朝日村	藤原	藤市
三等	同 牛窓町	坂口	藤藏	三等	淺口郡玉島町	中塚	孫治郎
三等	同 裳掛村	坂本	太加夫	三等	同 里庄村	吉山	角一
三等	淺口郡寄島町	原田	一久	三等	同 六條院町	山下	幸太郎
三等	邑久郡朝日村	浮田	仙藏	三等	邑久郡長濱村	小林	正夫
三等	同 牛窓町	高祖	操	三等	淺口郡玉島町	瀧澤	久一郎
三等	同 朝日村	小橋	覺	三等	同 富田村	畑田	文一
三等	同 同	光本	惠吉	四等	淺口郡黑崎村	石橋	久一
三等	淺口郡里庄村	德永	傳作	四等	兒島郡鉢立村	松原	治平
三等	小田郡城見村	坂本	榮逸	四等	淺口郡金光町	木下	柰平

四等	兒島郡福田村	仁科	辨太	四等	邑久郡大宮村	岡崎	仲治
四等	邑久郡裳掛村	榮	元治	四等	同 長濱村	小林	代五郎
四等	淺口郡金光町	武	敏夫	四等	同 鹿忍町	爲房	重松
四等	同 鴨方町	森原	愛市	四等	同 朝日村	今中	義衛
四等	邑久郡朝日村	片岡	正雄	四等	同 牛窓町	山本	勝太郎
四等	淺口郡玉島町	中川	鶴吉	四等	同 同	大倉	安太郎
四等	同 金光町	原田	惣吉	四等	淺口郡黑崎村	妹尾	石藏
四等	邑久郡牛窓町	岡崎	與三郎	四等	邑久郡大宮村	小橋	平吉
四等	淺口郡鴨方町	吉川	竹次	四等	同 長濱村	廣畑	勘藏
四等	邑久郡朝日村	吉永	利男	四等	同 朝日村	片岡	玉治
四等	淺口郡富田村	三門	兵五郎	四等	同 鹿忍町	爲房	大吉
四等	同 鴨方町	森原	榮一	四等	淺口郡富田村	田中	京平
四等	同 里庄村	大内	千萬人	四等	小田郡陶山村	佐藤	忠太郎
四等	邑久郡大宮村	西村	定男	四等	邑久郡牛窓町	森	藤巖
四等	同 裳掛村	山口	九八	四等	同 朝日村	植木	喜三治
四等	淺口郡六條院町	遠藤	國一郎	四等	同 大宮村	宮本	磯吉

四等	邑久郡朝日村	藤本初男	四等	和氣郡福河村	川邊愛三郎
四等	同 玉津村	木村隆	四等	吉備郡穗井田村	田村利喜松
四等	同 同	森部佐吉	四等	淺口郡六條院町	清水義一
四等	同 朝日村	吉永元治	四等	邑久郡本庄村	藤森好雄
四等	同 美和村	重康増太郎	四等	同 朝日村	末利伯郎
四等	同 玉津村	有本岩男	四等	同 大宮村	柴田勝清
四等	淺口郡里庄村	仁科吉平	四等	淺口郡大島村	田中諭一
四等	同 鴨方町	小野愛二	四等	同 黑崎村	佐藤平次郎
四等	同 玉島町	瀧澤伸一	四等	同 富田村	西尾立一
四等	同 金光町	桑野榮十	四等	同 里庄村	江原長治郎
四等	同 黑崎村	小林周一郎	四等	同 兒島郡福田村	三宅長市
四等	邑久郡大宮村	岡本七五三吉	四等	同 琴浦町	武下君子
四等	淺口郡長尾町	小野吟太郎	四等	邑久郡長濱村	馬場平吉
四等	吉備郡穗井田村	谷口芳太郎	四等	同 裳掛村	河崎益太
四等	小田郡金浦町	丸山音五郎	四等	同 大宮村	柴田義孝
四等	邑久郡裳掛村	前田春雄	四等	同 朝日村	出井武

五〇

四等	邑久郡牛窓町	山本林三	四等	邑久郡牛窓町	藤原莊次郎
四等	淺口郡富田村	坂本喜代治	四等	吉備郡穗井田村	家守豊吉
四等	邑久郡玉津村	有本松三郎	四等	淺口郡長尾町	田邊照次郎
四等	同 美和村	近藤一男	四等	邑久郡大宮村	岡崎健二
四等	同 鹿忍町	爲房數太	四等	兒島郡郷内村	日室治郎衛
四等	同 朝日村	浮田秀男	四等	邑久郡長濱村	森 豊
四等	吉備郡穗井田村	渡邊善吉	四等	同 裳掛村	山口藤一郎
四等	淺口郡金光町	白神始一	四等	同 同	山口元三郎
四等	邑久郡朝日村	海野琢志	四等	淺口郡金光町	友田伊三郎
四等	同 玉津村	山口喜代治	四等	邑久郡鹿忍町	福江傳吉
四等	同 美和村	木村岩市	四等	淺口郡寄島町	原田鶴吉
四等	同 朝日村	吉永重治	四等	邑久郡裳掛村	森 留吉
四等	同 裳掛村	長田勘藏	四等	淺口郡六條院町	中島順太郎
四等	淺口郡里庄村	田邊敏雄	四等	小田郡稻倉村	岩崎啓一
四等	邑久郡朝日村	山本辰巳	四等	淺口郡玉島町	松下淺吉
四等	同 玉津村	三浦熊一	四等	邑久郡裳掛村	久本金三郎

五一

四等	邑久郡裳掛村	小野田辰次	四等	邑久郡美和村	木村俊郎治
四等	同 朝日村	小笠原數術	四等	同 裳掛村	河崎鎮衛
四等	同 玉津村	武久初太郎	四等	淺口郡玉島町	渡邊勘七
四等	同 裳掛村	久本高夫	四等	邑久郡鹿忍町	爲房慎一
四等	淺口郡玉島町	瀧澤數太郎	四等	同 大宮村	西村暉一
四等	兒島郡鉢立村	井野川研二	四等	同 長濱村	野口吉三郎
四等	吉備郡穗井田村	岡 久夫	四等	同 朝日村	高平伸市
四等	邑久郡裳掛村	河崎代三郎	四等	同 美和村	西脇幸市
四等	同 朝日村	光本鶴夫	四等	淺口郡長尾町	小野亦一郎
四等	同 美和村	藤原政志	四等	同 玉島町	淺原熊利
四等	同 裳掛村	山口傳次郎	四等	小田郡塚村	中原才吉
四等	同 大宮村	西村 豊	四等	邑久郡大宮村	岡崎 豊
四等	同 牛窓町	木下文三郎	四等	淺口郡玉島町	瀧澤里松
四等	同 玉津村	木村市松	四等	吉備郡穗井田村	谷口隆一
四等	同 裳掛村	山口繁夫	四等	淺口郡富田村	赤澤幸八
四等	淺口郡玉島町	瀧澤忠次郎	四等	邑久郡大宮村	岡本嘉須美

四等	邑久郡大宮村	岡崎利章	四等	淺口郡鴨方町	吉川元三
四等	同 長濱村	野口一郎	四等	邑久郡牛窓町	尾田靜太
四等	淺口郡長尾町	田邊仙藏	四等	淺口郡鴨方町	柚木福一
四等	小田郡金浦町	丸山啓次郎			
四等	同 城見村	松浦市郎			
四等	邑久郡朝日村	成本安雄			
四等	同 同	光本利夫			
四等	同 鹿忍町	岡 利一			
四等	同 同	森下與三郎			
四等	淺口郡鴨方町	横山長平			
四等	吉備郡穗井田村	臼井武雄			
四等	邑久郡鹿忍町	橋本熊吉			
四等	同 同	出射萬三郎			
四等	同 朝日村	出井集一			
四等	同 美和村	木村一衛			
四等	淺口郡里庄村	岡崎栢一			

計 二百五十七人

第一回煙草耕作業績共進會受賞者 (會場邑久郡農會樓上)
(期日昭和四年三月二十五日)

團體表彰

一等	朝日村	古道里實行團	三等	長濱村	國塩實行團
二等	美和村	東須惠實行團	三等	鹿忍町	西脇上實行團
二等	朝日村	寶傳原實行團	三等	朝日村	東寶傳實行團
三等	長濱村	下實行團	三等	同	寶傳中西實行團
三等	鹿忍町	平山實行團	三等	美和村	西須惠實行團
三等	牛窓町	綾浦實行團	三等	大宮村	中西實行團

個人表彰

一等	朝日村	吉永勝太	二等	牛窓町	高祖幾太
二等	同	吉永利男	二等	美和村	木村一衛
二等	牛窓町	高祖音松	二等	朝日村	重光長吉
二等	鹿忍町	柴田代平	二等	美和村	平畑和太郎

二等	長濱村	馬場昇	三等	朝日村	浮田仙藏
二等	同	野口敬次郎	三等	長濱村	國房良衛
三等	鹿忍町	益田嘉代治	三等	朝日村	浮田石松
三等	長濱村	祇園藤一	三等	同	浮田庄松
三等	美和村	吉田長次郎	三等	鹿忍町	鳴坂喜八
三等	牛窓町	武久初次	三等	朝日村	植木熊次郎
三等	同	服部源太	四等	鹿忍町	尾上勇次郎
三等	朝日村	海野唯藏	四等	長濱村	小林正夫
三等	同	末利清吉	四等	牛窓町	若林藤松
三等	鹿忍町	爲房大吉	四等	長濱村	小塩滿雄
三等	裳掛村	久本佐太郎	四等	同	野口一郎
三等	鹿忍町	尾上文太	四等	美和村	正金惣吉
三等	長濱村	時實卓藏	四等	長濱村	野口松藏
三等	同	田村繁樹	四等	朝日村	末利虎男
三等	朝日村	藤原朝男	四等	同	光本政一
三等	長濱村	片山靜太	四等	長濱村	田村壽太

四等	大宮村	小橋	壽吉	四等	朝日村	末利	仁重
四等	美和村	馬場	夏吉	四等	同	浮田	伊勢男
四等	大宮村	万城	光治	四等	大宮村	岡本	加美隆
四等	長濱村	出射	鹿太	四等	鹿忍町	爲房	數太
四等	牛窓町	近成	猿吉	四等	本庄村	尾形	許藏
四等	鹿忍町	出射	虎吉	四等	長濱村	出射	壽太
四等	長濱村	野口	厚男	四等	同	時實	守一
四等	美和村	日下	榮治	四等	同	時實	峯太
四等	鹿忍町	馬場	嘉三郎	四等	裳掛村	久本	嘉平
四等	本庄村	中島	喜代藏	四等	長濱村	岡田	銀藏
四等	朝日村	植木	喜三治	四等	朝日村	吉永	元治
四等	美和村	大森	惠吉	四等	同	成本	安男
四等	裳掛村	河崎	代三郎	四等	裳掛村	山本	竹次
四等	美和村	大森	正明	四等	大宮村	岡本	虎威夫
四等	朝日村	吉永	重治	四等	美和村	木村	俊郎治
四等	鹿忍町	益田	嘉平治	四等	裳掛村	柴山	源太

四等	美和村	浦上	公志	四等	鹿忍町	山本	久市
四等	朝日村	吉永	吉男	四等	大宮村	小橋	平吉
四等	牛窓町	服部	雄二	四等	鹿忍町	片山	五平
四等	裳掛村	長田	文吉	四等	玉津村	山本	眞太
四等	牛窓町	岡崎	清一	四等	同	三浦	熊一
四等	長濱村	野口	熊次郎				

第二回煙草耕作業績共進會受賞者

(會場岡山地方專賣局牛窓出張所 期日昭和五年十二月十四日)

團體表彰

一等	朝日村	寶傳原	實行團	三等	鹿忍町	大向	實行團
二等	同	東寶傳	實行團	三等	同	冲實	實行團
二等	同	寶傳中	西實行團	三等	牛窓町	紺浦	實行團
二等	鹿忍町	西脇濱	實行團	三等	鹿忍町	畑野上	實行團
三等	朝日村	古道里	實行團	三等	同	中浦	實行團

四等	牛窓町	若林	朝日村	吉永利
四等	同	尾田	裳掛村	坂本
四等	朝日村	高平	朝日村	成本
四等	同	藤原	同	重光
四等	鹿忍町	長尾	長濱村	時實
四等	同	片山	牛窓町	吉田
四等	大宮村	小橋	朝日村	植木
四等	朝日村	光本	鹿忍町	益田
四等	長濱村	松尾	朝日村	吉永
四等	朝日村	重光	鹿忍町	出射
四等	本庄村	山瀬	裳掛村	山本
四等	鹿忍町	鳴坂	玉津村	森下
四等	大宮村	岡崎	同	吉田
四等	朝日村	今中	朝日村	浮田
四等	同	浮田		同
四等	鹿忍町	植野		平作

第三回煙草耕作業績共進會受賞者 (會場岡山地方專賣局牛窓出張所 期日昭和七年五月七日)

實行團表彰

一等	大宮村	清水	實行團	三等	朝日村	東寶傳	實行團
二等	同	中西	實行團	三等	同	南寶傳	實行團
二等	朝日村	古道	實行團	三等	同	高野谷	實行團
二等	同	寶傳	中西	三等	大宮村	藤井	實行團
三等	大宮村	東谷	實行團	三等	牛窓町	綾浦	實行團
三等	朝日村	寶傳	原	三等	本庄村	上山田	實行團
三等	同	大王寺	實行團	三等	牛窓町	天神山	實行團

進歩表彰

大宮村	西村	大宮村	宮本	長三郎
朝日村	成本	同	岡崎	春男
大宮村	小橋	同	万城	富士登

大宮村	小橋平吉	玉津村	三浦周一
同	大重嘉作	長濱村	野口善藏
朝日村	光本友惠	本庄村	尾形源右衛門
大宮村	西村三四	裳掛村	内田松治
同	柴田義孝	鹿忍町	出射昌治郎
同	万城秋夫	美和村	藤原政志
牛窓町	森藤熊太		

個人表彰

一等 大宮村	西村三四	二等 大宮村	万城秋夫
一等 同	小橋平吉	二等 朝日村	植木喜三治
二等 朝日村	末利虎男	二等 大宮村	宮本長三郎
二等 大宮村	岡崎春男	二等 同	西村暉一
二等 同	万城富士登	二等 同	小橋馬吉
二等 同	柴田義孝	三等 朝日村	泉本市
二等 朝日村	吉永重治	三等 同	高平仲一

三等 朝日村	光本友惠	三等 朝日村	浮田石松
三等 同	藤原九平	三等 同	浮田伊勢男
三等 大宮村	高平千代吉	三等 大宮村	吉永勝太
三等 同	出射多津次	三等 朝日村	岡本七五三吉
三等 同	小橋壽吉	三等 朝日村	末利重泰
三等 同	三原榮松	三等 玉津村	三浦周一
三等 同	岡崎猛夫	四等 大宮村	西村徳治
三等 牛窓町	森藤熊太	四等 同	万城五作
三等 大宮村	大重嘉作	四等 朝日村	今中喜代次
三等 同	岡崎茂	四等 大宮村	西村廣衛
三等 朝日村	藤原朝男	四等 鹿忍町	出射昌治郎
三等 同	吉永吉男	四等 大宮村	小橋悟
三等 大宮村	岡崎仲治	四等 同	西村定男
三等 同	宮崎政平	四等 朝日村	藤原哲太
三等 朝日村	吉永廣志	四等 同	吉永音五郎
三等 大宮村	小橋鶴彦	四等 同	浮田嘉四藏

四等	牛窓町	高祖	操	四等	大宮村	西村美穂二
四等	朝日村	重光圓次郎	四等	玉津村	三浦嘉次郎	
四等	同	海野滿雄	四等	朝日村	末利逸治	
四等	大宮村	岡崎健二	四等	同	今中永三郎	
四等	朝日村	末利仁重	四等	牛窓町	岡崎鉄太郎	
四等	大宮村	岡崎利章	四等	同	木下文三郎	
四等	朝日村	吉永利男	四等	本庄村	古武	
四等	大宮村	浮田平治	四等	鹿忍町	福江喜久藏	
四等	朝日村	柴田賢二	四等	長濱村	祇園藤一	
四等	大宮村	爲房重松	四等	同	梶原幸次郎	
四等	鹿忍町	尾形源右衛門	四等	玉津村	山口傳次郎	
四等	本庄村	末利鉄太	四等	本庄村	有本岩男	
四等	朝日村	末利伊勢松	四等	鹿忍町	藤森嘉太郎	
四等	同	万城伊勢吉	四等	長濱村	森本文藏	
四等	大宮村	末利	四等	同	出射四郎治	
四等	朝日村	峻	四等	同	出井福太郎	

第四回煙草耕作業績共進會受賞者 (會場岡山地方專賣局牛窓出張所 期日昭和九年五月十五日)

四等	長濱村	原野實	四等	美和村	久山庄太郎
四等	鹿忍町	尾上勇次郎	四等	裳掛村	前田與七
四等	同	坂本春雄	四等	美和村	平畑和太郎
四等	裳掛村	河崎代三郎	四等	長濱村	野口善藏

耕作組合表彰

一等	美和村耕作組合	三等	玉津村耕作組合
二等	大宮村耕作組合		

實行團表彰

一等	玉津村	庄田實行團	二等	朝日村	久々井實行團
二等	大宮村	中西實行團	三等	大宮村	清水實行團
二等	美和村	東須惠實行團	三等	美和村	西須惠實行團

三等	本庄村	上山田實行團	三等	美和村	飯井實行團
三等	牛窓町	志樂實行團	三等	鹿忍町	東實行團
三等	長濱村	國塩實行團	三等	朝日村	大王寺實行團
三等	裳掛村	鍛治谷實行團	三等	大宮村	東谷實行團

進歩表彰

玉津村	庄田實行團	長濱村	粟利郷實行團
美和村	飯井實行團	同	國塩實行團
裳掛村	中倉實行團	本庄村	佐井田實行團

第五回煙草耕作業績共進會受賞者(會場岡山地方專賣局牛窓出張所 期日昭和十年五月二十日)

耕作組合表彰

一等	美和村耕作組合	三等	朝日村耕作組合
二等	大宮村耕作組合		

實行團表彰

一等	玉津村	庄田實行團	三等	朝日村	久々井實行團
二等	大宮村	中西實行團	三等	大宮村	清水實行團
二等	朝日村	寶傳原實行團	三等	牛窓町	綾浦實行團
三等	長濱村	下實行團	三等	美和村	西須惠實行團
三等	美和村	東須惠實行團	三等	朝日村	古道里實行團
三等	長濱村	國塩實行團	三等	大宮村	東谷實行團
三等	裳掛村	鍛治谷實行團	三等	裳掛村	中倉實行團

進歩表彰

本庄村	下山田實行團	玉津村	庄田實行團
同	上山田實行團	美和村	東須惠實行團
長濱村	濱實行團	同	西須惠實行團
同	國塩實行團	同	飯井實行團
同	粟利郷實行團	裳掛村	中倉實行團

耕作改良實行團婦人部表彰

牛窓町	志樂婦人部	長濱村	下婦人部
鹿忍町	西脇婦人部	本庄村	中部婦人部
朝日村	古道里婦人部	玉津村	庄田婦人部
同	高野谷婦人部	裳掛村	鍛冶谷婦人部
大宮村	中西婦人部	美和村	西須惠婦人部

專賣局表彰

(其ノ二)

功勞者

昭和六年 邑久郡聯合組合長 林 甚 八
 同 八年 鹿忍町副組合長 中 村 正

昭和十年 長濱村副組合長 坂本 太郎 藏

町村組合

昭和四年 三等 朝日村煙草耕作組合
 同 六年 三等 大宮村煙草耕作組合
 同 十年 二等 裳掛村煙草耕作組合

昭和十年 三等 玉津村煙草耕作組合
 同 三等 大宮村煙草耕作組合

專賣局表彰

(其ノ二)

昭和三年 一等 鹿忍町	兒島 九十	昭和三年 五等 大宮村	小橋 鶴彦
同 二等 朝日村	浮田 新市	昭和四年 一等 朝日村	吉永 勝太
同 三等 鹿忍町	兒島 槌太郎	同 二等 牛窓町	高祖 音松
同 三等 長濱村	岡野 覺太	同 二等 美和村	木村 一衛
同 四等 美和村	大森 惠吉	同 三等 長濱村	祇園 藤一
同 四等 長濱村	松尾 竹藏	同 三等 同	野口 厚男
同 四等 裳掛村	大森 七郎	同 三等 鹿忍町	爲房 數太
同 五等 玉津村	森下 又次	同 四等 大宮村	岡本 加美隆
同 五等 牛窓町	山本 義太郎	同 四等 裳掛村	山口 九八
同 五等 本庄村	小林 一治	同 五等 本庄村	武道 淳二

昭和四年	五等 玉津村	三浦 靜二	昭和六年	三等 牛窓町	森 藤 熊 太
同	賞狀 同	森 下 又 次	同	三等 鹿忍町	出 射 昌 次 郎
昭和五年	一等 牛窓町	高 祖 音 松	同	四等 本庄村	尾 形 源 右 衛 門
同	二等 朝日村	吉 永 吉 男	同	四等 玉津村	三 浦 周 一
同	三等 鹿忍町	岡 利 一	同	四等 長濱村	祇 園 藤 一
同	三等 本庄村	尾 形 大 三 郎	同	四等 美和村	河 崎 代 三 郎
同	三等 玉津村	三 浦 嘉 次 郎	同	五等 美和村	浦 上 公 志
同	四等 美和村	吉 田 長 次 郎	同	賞狀 同	吉 田 長 次 郎
同	五等 大宮村	岡 崎 茂	昭和七年	一等 朝日村	成 本 延 衛
同	五等 裳掛村	中 島 園 次 郎	同	二等 牛窓町	木 下 丈 三 郎
同	五等 長濱村	時 實 卓 藏	同	三等 大宮村	小 橋 鶴 彦
同	賞狀 朝日村	吉 永 勝 太	同	三等 裳掛村	山 口 九 八
同	賞狀 美和村	木 村 一 衛	同	四等 鹿忍町	爲 房 重 松
同	賞狀 長濱村	祇 園 藤 一	同	四等 本庄村	尾 形 大 三 郎
昭和六年	一等 朝日村	末 利 虎 男	同	四等 長濱村	野 口 一 郎
同	二等 大宮村	西 村 三 四	同	四等 玉津村	三 浦 嘉 次 郎

昭和七年	五等 美和村	木 村 一 衛	昭和九年	三等 大宮村	出 射 繁 太
同	賞狀 玉津村	三 浦 周 一	同	四等 裳掛村	河 崎 鎮 衛
昭和八年	一等 長濱村	宗 時 勇 一	同	四等 美和村	日 下 榮 治
同	二等 本庄村	尾 形 大 三 郎	同	四等 本庄村	中 島 喜 代 藏
同	二等 裳掛村	前 田 誠	同	五等 牛窓町	木 下 丈 三 郎
同	三等 玉津村	木 村 市 松	同	五等 太伯村	竹 本 勇
同	三等 美和村	木 村 一 衛	同	賞狀 本庄村	尾 形 大 三 郎
同	三等 鹿忍町	岡 利 一	同	賞狀 牛窓町	武 久 初 次
同	三等 朝日村	出 井 武	昭和十年	一等 長濱村	宗 時 勇 一
同	四等 大宮村	岡 崎 健 一	同	二等 玉津村	三 浦 熊 一
同	四等 牛窓町	武 久 初 次	同	二等 大宮村	岡 本 七 五 三 吉
同	五等 太伯村	土 師 光 太	同	三等 裳掛村	松 本 助 治
昭和九年	一等 長濱村	宗 時 豪	同	三等 鹿忍町	益 田 嘉 平 治
同	二等 鹿忍町	岡 利 一	同	四等 朝日村	成 本 福 藏
同	二等 朝日村	海 野 滿 雄	同	四等 牛窓町	服 部 源 太
同	三等 玉津村	三 浦 周 一	同	四等 本庄村	尾 形 大 三 郎

昭和十年四等美和村 池畑 鉄雄

岡山縣聯合會表彰

(其ノ二)

功勞者

昭和四年 邑久郡聯合組合長林 甚八
昭和九年邑久郡聯合組合副組合長小林壽太

昭和十年裳掛村組合長坂 本關藏
鹿忍町組合長市川彌曾太

模範耕作者

昭和五年 朝日村 吉永 勝太
同 牛窓町 高祖 音松
昭和七年 玉津村 三浦嘉次郎
同 鹿忍町 爲房 重松
昭和八年 裳掛村 金塚健太郎

昭和八年 朝日村(女) 高平 武重
昭和九年 本庄村 藤森嘉太郎
同 美和村 木村俊郎 治
昭和十年 大宮村 岡崎 豊
同 長濱村 宗時 勇一

耕作組合

昭和五年 三等 鹿忍町耕作組合
同 六年 二等 大宮村耕作組合
同 七年 三等 朝日村耕作組合
同 八年 三等 牛窓町耕作組合

昭和九年 三等 玉津村耕作組合
同 十年 二等 裳掛村耕作組合
同 二等 玉津村耕作組合
同 三等 長濱村耕作組合

實行團

昭和三年 一等 朝日村東寶傳實行團
同 三等 鹿忍町中浦實行團
同 三等 長濱村下實行團
同 四年優勝旗一等 朝日村古道里實行團
同 三等 長濱村下實行團
同 三等 大宮村中西實行團
同 五年優勝旗一等 朝日村寶傳原實行團
同 三等 同村古道里實行團

昭和五年 三等 鹿忍町西脇濱實行團
同 六年優勝旗一等 朝日村古道里實行團
同 二等 大宮村清水實行團
同 三等 大宮村中西實行團
同 七年優勝旗一等 朝日村寶傳原實行團
同 二等 朝日村古道里實行團
同 二等 大宮村清水實行團
同 二等 朝日村高野谷實行團

昭和七年	三等	朝日村寶傳原實行團	昭和九年	二等	大宮村中西實行團
同	三等	大宮村中西實行團	同	三等	朝日村寶傳原實行團
同	八年優勝旗一等	玉津村庄田實行團	同	三等	長濱村下實行團
同	二等	大宮村中西實行團	同	三等	裳掛村鍛冶谷實行團
同	三等	朝日村久々井實行團	同	二等	長濱村國塩實行團
同	三等	本庄村上山田實行團	同	二等	裳掛村鍛冶谷實行團
同	三等	大宮村清水實行團	同	三等	玉津村庄田實行團
同	九年	玉津村庄田實行團	同	三等	大宮村中西實行團

人事異動

(自大正十五年十ヶ年中)
至昭和十年十ヶ年中

岡山地方局幹部の方々

局長	有田 靖氏	自大正十三年十二月 至大正十五年
	池田 藏六氏	自大正十五年五月 至昭和三年
	石森 銀次氏	自昭和三年五月 至昭和七年
	松崎 漸吉氏	自昭和七年四月 至昭和十年
	栗田 進氏	自昭和十年六月 至昭和十一年
事業課長	宇田 吉一氏	自大正十三年十二月 至昭和三年
	吉田 秀穂氏	自昭和三年十二月 至昭和七年
	小林 末夫氏	自昭和七年四月 至昭和十年
	中山 治三郎氏	自昭和十年六月 至昭和十一年
鑑定課長	田中 大藏氏	自大正十三年十二月 至昭和四年
	川上 寛治氏	自昭和四年十二月 至昭和八年
	守屋 眞析氏	自昭和八年十一月 至昭和十一年

牛窓出張所

所長	和田 次平氏	自大正十二年三月 至昭和六年
	渡邊 正一氏	自昭和六年十二月 現在
事業掛	湯淺 源清氏	自昭和三年三月 至昭和五年
	樋口 信二氏	自昭和五年八月 現在
鑑定掛	田邊 亨氏	自昭和三年三月 至昭和八年十一月
	吉藤 吉五郎氏	自昭和八年五月 至昭和十年十二月退職
	上野 知一氏	自昭和八年十二月 至昭和十一年
	宇野 徳治氏	自昭和十一年四月 現在

邑久郡耕作教師異動

町村	年次	大正十五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	現在
牛窓町		中野和三郎 自七月	中野幾太郎 自五月	同	松尾次太 自七月	同	同	同	光本政一 自六月	同	同	同	柴田義孝 自二月
鹿忍町		錢谷榮之助 自七月 西尾菊次郎 (臨時)	中野幾太郎 自五月	同	新地二郎 自四月 松尾次太 自八月	同	同	同	光本政一 自六月	同	同	同	柴田義孝 自二月
朝日村			中野幾太郎 自五月	同	春木榮太郎 (臨時)	同	同	同	同	同	同	同	植野仙太 自二月
大宮村			中野幾太郎 自五月	同	同	同	同	同	同	同	同	同	植野仙太 自二月
本庄村			中野幾太郎 自五月	同	松尾次太 自八月 岩崎音一 (臨時)	自十二月	同	同	同	同	同	同	同
長濱村		中野和三郎 自七月 錢谷榮之助 自七月 丈六福松 (臨時)	同	松尾次太 自三月	石田作松 自七月 奥田林太郎 自二月	同	同	同	同	同	同	同	柴田義孝 自二月
玉津村			錢谷榮之助 自五月	同	兒玉自四月 石田作松 自七月 中井勝治 (臨時)	同	同	同	同	同	同	同	同

郡組合の變遷

美和村	裳掛村	太伯村
中野和三郎 自七月 錢谷榮之助 (臨時)	中野和三郎 自七月 錢谷榮之助 自七月 樋上茂一郎 (臨時)	
同	同	
同	同	
兒玉自四月 石田作松 自七月 中井勝治 (臨時)	兒玉自四月 石田作松 自七月 正井三郎 (臨時)	
同	同	
同	同	
井上關次 自五月	井上關次 自五月	
同	同	中野幾太郎
同	同	同
同	同	同
自九月 未定	自九月 未定	自九月 未定

大正十五年試作の認可と同時に邑久郡煙草試作聯合組合を組織し同年三月事務所を邑久郡各種團體事務所内に設置し創始
 匆々の諸般事務をとることゝしたり、然れども當時の豫算は極めて貧弱にして辛じて指導機關の設備に力むる程度にして
 積極的施設に備ふる餘裕なかりしが昭和三年に至りて郡内町村は一樣に耕作地に編入され、こゝに於て郡内の煙草作は初
 めて專賣局所要の原料生産地即ち煙草産地として認めらるゝことゝなり、組合は邑久郡煙草耕作聯合組合と改稱し、事務
 所は依然邑久郡各種團體事務所内に續置することゝせり、而て當時は既に郡内の段別も約百三十町歩迄に伸展し居りて組
 合財源に稍や曙光を見るに至りしに加へ昭和三年度即ち耕作地に編入されし以來は專賣局より年々組合交付金の下附ある
 等組合の經營は劃期的に更むることを得漸を遂ふて積極的に施設對應することを得るに至りしは實に幸ひなりき。如斯産

地の發展と共に組合の基礎は鞏固となり組合事業項目に於ても産地の要求に従ひ又時代の動向に應じて稍や對策し得るに至れり。

かくして組合創立十周年に及びたる昭和十年末に於て和氣郡煙草耕作聯合組合と合併の問題擡頭し大休左の如き經緯の下に終始して遂に結成さるゝこととなり邑久郡煙草耕作聯合組合は解体されて東備煙草耕作聯合組合として東備一圓を統制し東備産地の強化を圖り廣く地方の福利増進に努むることとなりたり。

和氣郡は縣下に於ける米葉耕作の卒先地にして一日の長あり、本郡に於てもその開始を同郡に學びたる處尠からず因縁甚だ深くして、而も隣接地にして收納所屬を同一となせる等凡ての事情に於て共同歩調を要する秋に當り、偶々和氣郡産地は創始以來抄々しき發展もなく動もすれば組合の維持に難色を生づるに至り、之に比し邑久郡は幸に順調なる經路に在りて組合機能の發揮に力め得らるゝ、状況にありしを以て、こゝに合併の必要性を提唱さるゝに至りたるなり、而て兩郡に於ては小我を去つて大同し、産地の發展確立に邁進せむとする氣運を醸成することとなり、此の間兩郡に於ては各々數次の會合を以て完全なる意見の一致を見、昭和十一年三月十四日兩郡の合併委員會を邑久郡煙草耕作聯合組合に開催し合併諸般の案件を慎重に審議し具体化への第一歩を進め而て昭和十一年三月二十五日邑久郡煙草耕作聯合組合樓上に於て愈々兩郡の成立總會を開催し滿場一致和氣黨々の中に合併を可決し、東備煙草耕作聯合組合はこゝに芽出度生誕したるなり。本合併に專賣局牛窓出張所のとられし居中調定の勞並びに兩郡當局が大局的見地に立つてよく和衷協同の具現に力められし功績は美談として語るに足らん。

- | | | |
|------|-------------|--------------|
| 組合長 | 林 甚 八 氏 | 昭和十一年九月辭任により |
| 副組合長 | 小 林 壽 太 氏 | 後任 |
| 同 | 草 加 德 太 郎 氏 | 木 下 竹 藏 氏 |
| 同 | 藤 原 常 男 氏 | 藤 原 常 男 氏 |
| 事務員 | 延 原 與 一 氏 | 事務所 |
| | | 邑久郡牛窓町役場内 |

耕作改良實行團並に婦人部の設置發達の狀況

本郡の生産葉煙草は素質不良にして徹底的改善を要すべく尙將來主要産地として堅實なる發達を遂げんとするには團体の訓練により之れが助長發達を圖るにありとし其筋の奨励により先づ一部落又は數部落を以て一丸とせる耕作者を以て改良實行團を組織し之れが發達に努めたるに實行團は幸ひに順調の經過を辿り活動成績共に佳良なるを認めたるを以て更に進んで煙草耕作者の家族たる婦人を以て婦人部を各實行團内に組織せしめたり但し實行團に對しては全般に亘つて急速に設置すること、なせるに反し婦人部に對しては漸進主義にて自ら進んで組織せしむること、せり婦人部の自發的設置と共に青年部を併せて設置せるもの等あり而して是等改良實行團並に婦人部青年部は互に連絡統制を保ち改良實行機關の最前線にありて良く其筋の指示命令を遵守し耕作方法の改良研究に努め其の活動顯著にして遂に世評極めて悪かりし本郡煙草産地をして驚異に植すべき改良を實行し得たり本團は時間の勵行、敬神崇祖、隣保互助、質素勤勉、研究、一致團結、義務の遂行等の美風、實行につき特に意を拂ひつゝあり團の規約は各團によりて夫々趣を異にするも今一例を示せば左の如し

村 煙草耕作改良實行團規則

八〇

- 第一條 本團ハ煙草耕作改良發展並ニ和衷協同共勵相互扶助ノ精神ヲ涵養スルヲ以テ目的トシ團員ハ所定ノ改良事項ヲ實行シ一致團結シテ事ニ從フモノトス
- 第二條 本團ハ 村 煙草耕作改良實行團ト稱ス
- 第三條 本團ハ 村煙草耕作組合ニ屬スルモノトス
- 第四條 本團ニ左ノ役員ヲ置キ團長宅ヲ事務所ト定ム
團長 一名 副團長 一名 會計 一名 幹事 若干名
團長及副團長ハ團員之ヲ選舉シ幹事及會計ハ團長之ヲ任命ス
- 第五條 役員ノ職制ハ左ノ如シ
一、團長ハ團ヲ總轄シ且ツ團ヲ代表ス
一、副團長ハ團長ヲ補佐シテ團務ヲ處理シ團長事故アル時ハ之ヲ代理ス
一、會計ハ團長直轄ノ下ニ團ノ財務ニ任ズルモノトス
一、幹事ハ團長ノ指揮ヲ受ケ團員ノ耕作實行狀況ヲ調査シ且ツ改良實行ノ督勵ヲナスモノトス
- 第六條 役員ノ任期ハ三ヶ年トシ再選ヲ妨ゲズ
但シ煙草耕作ヲ廢止シタル時ハ同時ニ資格ヲ失フモノトス

- 第七條 本團則ハ設立ト同時ニ岡山地方專賣局ヘ報告スルモノトス
- 第八條 本團ハ統一ノ目的ヲ以テナルベク共同作業ヲ行ヒ病氣其他止ムナキ事故ノ爲メ實行事項ヲ爲シ得ザル場合ハ相互ニ援助シ耕作ノ完成ヲ期スルモノトス
- 第九條 第十六條ニ定ムル事項ヲ履行セサル者アル時ハ所屬 村煙草耕作組合並ニ邑久郡聯合組合長ニ報告シ耕作廢止ヲ申請ヲナスコトアルベシ
- 第十條 本團ハ毎年第一期收納後直ニ金貳圓宛規約貯金トシテ五ヶ年一期トシ積立ツル義務アルモノトス而シテ之レガ保管ハ會計ヲシテ掌ラシメ利殖ノ方法ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
- 第十一條 本團員ハ現在耕作セル段別ヲ責任反別トシ五ヶ年間耕作スル義務アルモノトシ萬一規約ニ違反シ何等ノ支障無キニ耕作反別ヲ減ジ又ハ中止シタル者アル時ハ當人ノ規約貯金全部ヲ沒收スルモノトス
但シ止ムナキ事故ヲ生ジタル場合ハ本團ノ決議ニヨリ永ク耕作反別ヲ減少シ若クハ中止スルコトヲ得
- 第十二條 本團員ハ煙草耕作上參考ニ資スルノ目的ヲ以テ苗床本圃乾燥ノ實地ニツキ親シク優良産地ヲ視察スルモノトス
- 第十三條 毎年春秋兩度ニ總會ヲ開キ尙毎月一回以上研究會ヲ開キ以テ本團ノ向上發展ヲ圖ルモノトス
- 第十四條 本團ハ煙草耕作ニ必要ナル物品ヲ全部共同購入スルモノトス
- 第十五條 本團ハ耕作改良ヲ圖ル目的ヲ以テ實收入ノ内適宜慰勞金ヲ家族ニ分與スルモノトス
- 第十六條 耕作改良實行事項ヲ左ノ如ク定ム
一、煙草ヲ植付ケントスル畑又ハ田ハ全部麥ヲ大畦蒔トナスコト

八一

- 二、麥ハナルベク短幹早生ノモノヲ選擇シ早播スル事
- 三、苗床ハ指示ノ通り完全ナル揚床トナシ段當時坪ヲ三坪乃至四坪トナスコト
- 四、苗床用トシテ一坪當リ腐熟堆肥五斗菜種油粕三升ヲ十二月末迄ニ用意スルコト
- 五、苗床設備ハ二月十日迄ニ外圍ヲナシ發熱材料ヲ準備シ置キ播種指示期ノ初期ニ於テ床ヲ完成シ三日以内ニ點播器ニ依リ播種スルコト
- 六、苗床防寒ノ設備並ニ管理ニハ特ニ注意スルコト
- 七、移植ハ年ニヨリ多少相違アルモ四月下旬ヲ目標トシ遅クモ五月五日迄ニ完了ノコト
- 八、畦間株間ハ正確ニシ正條植トナスコト
- 九、本圃肥料ノ種類施用量ハ加ノ状態ニヨリ斟酌シ堆肥ハ必ズ腐熟セルモノヲ施シ草木灰ハ反當五十貫以上トナスコト
- 肥料ヲ元肥ト追肥トニ分チテ施ス場合ニハ追肥ハ植付後一週間以内ニ施スコト、シ遅延セシメザルコト
- 十、土寄ハ假土寄共二回以上トシ移植後二十日以内ニ終了セシムルコト
- 十一、適熟葉ノ採收ニ努メ乾燥室ニ適應ノ數量ヲ吊込ムコト
- 十二、貯藏場所ノ改善貯藏ノ方法手入ニ注意スルコト
- 十三、毎年五月末日迄ニ翌年耕作セントスル煙草畑ヲ定メ畑毎ノ字地番反別ヲ團長ニ報告スルコト
- 十四、堆肥ノ原料ハ九月迄ニ之レヲ準備シ二月迄ニ煙草本圃肥料トシテ適當ナル様腐熟セシムルコト

婦 人 部 規 約

- 第一條 婦人部ハ煙草耕作者ノ家族婦人ヲ以テ組織シ部員相互ノ和親ヲ圖リ進ンデ煙草耕作ノ技術ヲ練磨シ本圃ノ改良發展ヲ積極的ニ援助スルモノトス
- 第二條 本部ニ部長一人副部長一人世話役三人ヲ置ク部長世話役ハ部員ノ推薦若クハ選舉トシ團長之レヲ囑託スルモノトス
- 第三條 役員ノ任期ハ三ヶ年トシ再選ヲ防グズ
- 第四條 本圃則ニ定メタル實行事項ノ實行ニ努ムル外婦人部トシテ特ニ實行スベキ事ハ時々申合ス事

婦 人 部 申 合 事 項

- 一、毎朝点火前竈ノ内ノ灰ヲ丁寧ニ取り出シテ之レヲ一定ノ場所ニ溜メテ置キ加里肥料代ノ節約ヲ圖リマシヨウ
- 二、不注意カラ火災ノ起ラヌ様灰ノ取扱ニハ特ニ氣ヲ附ケマシヨウ
- 三、家ノ廻リヤ道路又ハ田畑ノ周圍等ニ薬屑細切雜草塵埃等散亂セルモノアレバ氣ヲ付ケテ取り集メ定メノ場所ニ運ビ掃除旁々自給肥料ノ原料ノ内ニ加ヘマシヨウ
- 四、煙草耕作ハ殆ンド婦人ノ手デ出來ルノデスカラ講習講話等ニハ必ず進ンデ受講シ又本素オ互ニ仲ヨク研究シ合ツテ先ツ耕作上ノ腕ヲ磨キマシヨウ

統計

- 五、拔除シタル煙草ノ苗ヤ幹根ヲ至ル處ニ放置セヌ様ニ直チニ一定ノ場所ニ集メマシヨウ
- 六、本圃移植ノ節ハ正條植ヲ婦人部ノ手デ必ズ勵行シマシヨウ
- 七、腋芽ヲ伸長サセナイ様ニ芽ツミヲ勵行致シマシヨウ
- 八、乾燥葉煙草ノ良否ヲ見分ケル實力養成ノ目的ヲ以テ品質鑑別ノ競技會ヲ催シ教師ノ審査ヲ願ヒマシヨウ優秀ナルモノニハ賞與シマシヨウ
- 九、毎月一日早朝ニ氏神様ニ參拜致シマシヨウ
- 十、毎月一回道路ノ掃除ヲ致シマシヨウ

統計

- 五、栽培シタニ煙草ノ苗ヲ管理ノ中ニ處ニ放置スニ付テニ一定ノ場所ニ在ラズニシテ
- 六、本圃移植ノ節ハ正位植ノ婦人部ノ手ヲ必ズ勤行シマシム
- 七、莖芽ノ伸長サセナイ様ニ株ヲニテ勤行致シマシム
- 八、栽培煙草ノ良否ヲ見分ケ、實力ニ依テ目的ヲ以テ品質區別ノ栽培實ノ節ニ於テ種ノ審査ヲ始メシムルニシテ、種ヲ檢査ナルモノ
- ニハ當別ニマシム
- 九、毎月、日早朝ニ氏神様ニ参拜致シマシム
- 十、毎月一回道路ノ掃除ヲ致シマシム

牛 窓 町

區分	年次	牛 窓 町									
		昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年	(平均)
耕作人員	人	八二	九七	八四	七六	八四	八五	七四	六一	五八	七〇
檢査反別	町歩	八、六三三	一四、九〇五	一三、二六一〇	一三、五三二六	一六、三九〇三	一五、六〇一〇	一六、一四〇一	一五、八〇〇〇	一五、八六一〇	一三〇、一四七
收納量目	百斤	一八、一六二、八 四、八四四、〇〇	二九、一八九、〇 七、八〇〇、四〇〇	二〇、三八〇、九 五、四四四、九〇〇	二二、八一五、八 六、〇八四、〇〇〇	三〇、九〇〇、八 八、二四〇、一〇〇	二二、五五六、五	二〇、二三五、〇	二二、六九〇、〇	二二、三五八、〇	二二、三八八、八
同上賠償金	円	九、三二一、三四〇	一九、三三二、四九〇	一四、三二五、一四〇	一五、二五九、〇九〇	一六、八三三、九八〇	一六、一一一、六三〇	一五、六六〇、〇三〇	一六、六七二、九三〇	一七、〇七九、二〇〇	一四〇、五七五、七四〇
平均一疋當賠償金	円	一一三、五二二	一九、三三二、四九〇	一四、三二五、一四〇	一五、二五九、〇九〇	一六、八三三、九八〇	一六、一一一、六三〇	一五、六六〇、〇三〇	一六、六七二、九三〇	一七、〇七九、二〇〇	六六二
納付包數	包	一、六三二	二、三〇六	一、九四二	二、〇五三	二、三五〇	二、一一一	二、〇五八	二、一九四	二、一五七	一八、八〇二
一包當量目	斤	一一、一三八 二、九七〇	二二、七〇一 三、三八七	一〇、四九六 二、七九七	一一、一一五 二、九六四	一三、一四八 三、五〇六	一一、一五九	九、八三三	一〇、七九八	一〇、八二九	一一、二九六
平均一反步當收納量目	百斤	二二〇、四 五、四〇〇	一九六、五 五、四〇〇	一五三、八 四、一〇〇	一六八、四 四、九〇〇	一八八、六 五、三〇〇	一五二、〇	一四五、四	一四九、九	一四七、二	一六三、二
平均一反步當賠償金	円	一〇七、九一九	一九、八三九	一〇七、八五五	一一二、七〇七	一二、五八一	一〇三、二五八	九七、〇二四	一〇五、五三五	一〇七、六六四	一〇八、〇一七
平均一反別量目	町歩	一〇六	一五一	一五四	一七二	一九五	一八一	二二四	二五七	二七二	一八五
平均一反別量目	百斤	三二二、六 五、九〇〇	三〇一、九 八、〇〇〇	二四二、六 六、七〇〇	二九二、五 七、八〇〇	三六七、九 九、一〇〇	二七七、一	二七三、四	三八八、四	四〇一、七	三〇一、一
平均一反別量目賠償金	円	一一三、六七五	一九九、五〇〇	一七〇、二九九	一九五、六九九	二〇〇、六六六	一八九、五四九	二二一、六三三	二七三、三七	二九四、四六八	一九九、九六五

鹿忍町

區分	鹿忍町									
	大正一五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
耕作人員	七九	一五二	一七〇	一三〇	一一二	一一九	一一三	九一	九一	八〇
檢査反別	三、六六四	二〇、〇〇三	二八、四四二	三四、七九六	三五、一〇二七	四一、八三二	三九、七五〇三	三九、六四二五	三二、九六〇六	二六、一五三三
收納量目	八、一九三、二	三五、九四六、四	五四、六五二、五	五二、七三、四	五九、五一、〇	七七、五三、九	五七、九三、四、〇	四八、三五四、五	四一、四九九、五	四一、四九九、五
同上賠償金	六、六二七、二八三	二四、八三〇、四〇〇	四〇、三三五、一四〇	三五、七四五、一三〇	四一、九四二、二〇〇	四〇、五五四、五九〇	三五、二九七、三六〇	二六、三七七、〇七〇	三三、五九〇、五四〇	二八、五五九、八七〇
平均一疋當賠償金	八〇八	六九一	七三六	六七八	七〇五	五三三	六〇九	六四七	六八八	六五五
納付包數	八三六	三、五三三	四、〇八〇	四、六三三	四、六六七	五、七〇八	五、三二九	三、九三三	三、五二四	四〇、七六一
一包當量目	九、七九九	一〇、一七八	一三、三九五	一一、三七八	一二、七五〇	一三、五八三	一〇、八九二	一一、三五九	一一、七九八	一一、七〇三
平均一反步當收納量目	二二三、五	一七九、六	一九二、〇	一五一、五	一六九、五	一八五、三	一四五、七	一五一、三	一五八、五	一五八、三
平均一反步當賠償金	一八〇、四〇六	二四、二五	一四一、四三九	一〇一、七二〇	一一九、四六三	九八、八九五	八八、七九六	一〇一、九六七	一〇九、〇三二	一〇三、七五四
平均一量目反別	四一九	一三〇七	一六二二	二六三三	二九〇	三五五	三五二	三五〇	三五二	二五二
平均一人當賠償金	八三、七三三	一六四、四〇〇	二二六、六七七	二七四、九六三	三四六、六三〇	三四〇、六二七	二九六、六二六	二三三、四二五	三五八、一三八	二六六、五七三

朝日村

區分	朝日村									
	大正一五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
耕作人員	一三六	一三六	一三六	一三六	一三三	一三七	一四三	一四一	一三六	一三三
檢査反別	一〇、三〇〇六	一六、七〇三	二六、七〇三	二二、五八八	三二、九一四	四五、五三二	四七、八五〇六	四九、三九一九	四九、五七〇七	四六、五二〇二
收納量目	一六、八七七、六	三〇、三七六、一	三八、四三六、四	三三、九一四	五五、〇八〇、〇	九二、七七七、六	八六、〇八八、五	五〇、六五八、五	七五、七三三、〇	七五、四三四、五
同上賠償金	一一、五五三、八四〇	二二、〇〇〇、九四〇	二八、九八六、六〇	二四、五五、四二〇	四一、二四五、四二〇	六二、三三三、五九〇	六六、八七二、八九〇	三六、四四一、一七〇	六〇、六三三、八一〇	五五、九〇九、九三〇
平均一疋當賠償金	六八四	七五七	七五四	七四九	七四九	六七二	七七九	七二九	七四一	七四二
納付包數	一、九四五	二、四三二	三、三八二	四、三三六	四、三三六	六、六四九	六、四九九	五、七六六	五、八三六	五、六五〇
一包當量目	八、六七八	一二、四九五	一二、三六六	一二、三三二	一三、九五四	一三、九五四	一三、二四六	八、八六三	一二、九七二	一二、三五二
平均一反步當收納量目	一六三、九	一八二、九	一六三、一	一六三、一	二〇三、六	二〇三、六	一七九、九	一〇二、五	一五二、七	一六二、二
平均一反步當賠償金	一一二、一五二	一二七、六七〇	一二三、八九六	一二三、〇四四	二二五、〇四四	二二六、八六四	一三九、七四九	七三、七六八	一二三、二九四	一二〇、一八三
平均一量目反別	七二七	一三〇八	一八二二	二六二五	三三〇七	三三〇七	三三四	三五〇一	三九一〇	四一〇五
平均一人當賠償金	八四、九五五	一四一、一	二四一、一	三〇四、九	四四七、八	四四七、八	四六七、六四三	二五八、四四八	四八八、一四二	四九四、七七八

大 宮 村

區分	年次	大正一五年										平均一 反步當	平均一 反別	平均一 人當	
		大正一五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年				(平均)
耕作人員	人	三五	三五	三九	四四	四六	四九	五〇	五五	五四	五三	四五			
檢査反別	町步	三、〇八七	六、一七二	六、一九六	九、六〇三	一一、二九四	一二、五八二	一三、四七三	一四、三四三	二〇、一七〇	二〇、二七〇	二一、五七三	一一、五七三		
收納量目	百斤	六、一七一	一〇、九七七	一〇、九七七	一五、〇〇一	一六、三五四	一四、四八九	二四、〇七四	二四、四八九	三三、五八三	三五、四五一	一八、三一五	一八、三一五		
同上賠償金	円	四、一六五	七、七三三	七、七三三	九、八四七	一〇、五六五	一〇、五九七	一八、六八〇	二〇、五九七	二七、五八一	三〇、七五一	一四、六二四	一四、六二四		
平均一 賠償金	円	六七五	七〇八	七〇八	六五六	六四六	八四一	七七六	八四九	八七三	八六七	七九	七九		
納付包數	包	五五五	八五七	八五七	一、三三五	一、三五八	一、八〇〇	一、八三三	一、八三三	二、四一九	二、五四〇	一、四五一	一、四五一		
量一包當	斤	一一、一九九	一一、二八〇	一一、二八〇	一一、三三二	一一、四四五	一一、五三〇	一一、六一四	一一、六一四	九、九八六	九、九八六	一一、〇三六	一一、〇三六		
平均一 收納量目	百斤	一、九九九	一、七七〇	一、七七〇	一、五六一	一、四四八	一、四四八	一、七七一	一、七七一	一、五六一	一、五六一	一、四四九	一、四四九		
平均一 反步當	町步	一三五、〇〇〇	二二五、〇〇〇	二二五、〇〇〇	一〇二、五六八	一〇二、五六八	九三、五七一	一三六、六六五	一三六、六六五	一三六、六六五	一三六、六六五	一三〇、九四四	一三〇、九四四		
平均一 反別	町步	八二四	一五七	一五七	二二五	二二五	二四六	二六八	二六八	三七二	三七二	二六八	二六八		
平均一 量目	百斤	一七六、三	二八一、六	二八一、六	三五四、九	三五四、九	三五四、九	四九四、九	四九四、九	五八四、九	五八四、九	四六八、九	四六八、九		
平均一 人當	円	二一九、〇一八	一九九、三二八	一九九、三二八	二二五、八〇七	二二五、八〇七	二二五、八〇七	二二五、八〇七	二二五、八〇七	二二五、八〇七	二二五、八〇七	二二五、八〇七	二二五、八〇七		

四

本 庄 村

區分	年次	大正一五年										平均一 反步當	平均一 反別	平均一 人當	
		大正一五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年				(平均)
耕作人員	人	四六	四六	四八	四八	五二	五八	五八	五八	五八	五八	四四	四四		
檢査反別	町步	三、三四二	七、二五〇	七、二五〇	九、二八〇	八、五七四	一〇、一〇三	九、八六〇	一〇、〇一一	一一、一四四	一二、二九二	八、八九〇	八、八九〇		
收納量目	百斤	五、九六四	一一、五五五	一一、五五五	一三、三九二	一三、四八八	一七、八二五	一七、八二五	一三、二四七	一八、六五一	二〇、二七八	一一、五九三	一一、五九三		
同上賠償金	円	三、九六六	八、九八八	八、九八八	八、七五八	七、〇九七	一〇、二七八	九、六三〇	一〇、一〇一	一三、八七六	一四、六四九	八、七三九	八、七三九		
平均一 賠償金	円	六五八	七二七	七二七	六五四	六五四	五七二	五七二	六六五	七四四	七三三	六七九	六七九		
納付包數	包	六四四	一、一〇七	一、一〇七	一、三四一	一、一六九	一、四一六	一、四一六	一、三〇〇	一、六六〇	一、七五四	一一、六五二	一一、六五二		
量一包當	斤	九、二六三	一一、三三三	一一、三三三	九、九八六	一〇、六三二	一一、五八一	一一、五八一	一〇、五〇五	一一、三三六	一二、二九二	一一、〇三六	一一、〇三六		
平均一 收納量目	百斤	一、七八一	一、七二二	一、七二二	一、四四四	一、四四四	一、七二二	一、七二二	一、四四四	一、五三六	一、六四九	一、五五二	一、五五二		
平均一 反步當	町步	二二七、二七六	二二四、〇六八	二二四、〇六八	九四、三七四	八二、七三五	一〇一、七三六	九七、六四三	一〇〇、八七〇	一二四、二八〇	一二九、三四四	一〇五、三五三	一〇五、三五三		
平均一 反別	町步	七〇八	一一九	一一九	一六〇	一六〇	二〇二	二〇二	二二八	二二二	二七六	一八四	一八四		
平均一 量目	百斤	二二九、八	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九	三三三、九		
平均一 人當	円	八五、三五六	一六〇、六八二	一六〇、六八二	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九	一五二、〇〇九		

五

長濱村

區分	年次	長濱村									
		昭和二年	大正一五年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
耕作人員	人	二二〇	二二〇	一六七	一五七	一四三	一三七	一三〇	一〇〇	九二	八三
檢查反別	町歩	四、〇一〇	四、〇一〇	三、二〇九	三、二〇九	三、二〇九	三、二〇九	三、二〇九	三、二〇九	三、二〇九	三、二〇九
收納量目	百石	九、一五四	九、一五四	三、一五六	四、一八八	三、一五六	三、一五六	三、一五六	三、一五六	三、一五六	三、一五六
同上賠償金	町圓	六、九〇〇	六、九〇〇	二、三六四	二、九七二	二、三六四	二、三六四	二、三六四	二、三六四	二、三六四	二、三六四
平均一町當賠償金	町圓	三二	三二	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇	七二〇
納付包數	包	一、六四	一、六四	三、二〇八	三、二〇八	三、二〇八	三、二〇八	三、二〇八	三、二〇八	三、二〇八	三、二〇八
一包當量目	町石	八、六〇三	八、六〇三	九、七二三	九、七二三	九、七二三	九、七二三	九、七二三	九、七二三	九、七二三	九、七二三
平均一包當收納量目	町石	二八、四〇〇	二八、四〇〇	一八八、〇	一八八、〇	一八八、〇	一八八、〇	一八八、〇	一八八、〇	一八八、〇	一八八、〇
平均一反步當賠償金	町圓	一七四、〇三二	一七四、〇三二	一三四、二四三	一三四、二四三	一三四、二四三	一三四、二四三	一三四、二四三	一三四、二四三	一三四、二四三	一三四、二四三
反別量目	町歩	三二〇	三二〇	九一九	九一九	九一九	九一九	九一九	九一九	九一九	九一九
平均一人當賠償金	町圓	五八、一七五	五八、一七五	二一九、三九四	二一九、三九四	二一九、三九四	二一九、三九四	二一九、三九四	二一九、三九四	二一九、三九四	二一九、三九四

玉津村

區分	年次	玉津村									
		昭和二年	大正一五年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
耕作人員	人	六九	六九	六四	五七	四四	四六	四二	三七	四三	四二
檢查反別	町歩	五、〇三〇	五、〇三〇	七、三四一	七、三四一	六、一四五	七、一〇五	六、七四〇	七、七二八	一〇、三八一	一一、八八一
收納量目	百石	九、九六九	九、九六九	三、八六四	九、七三二	二、七三三	一〇、三六一	三、九〇九	一一、〇九八	一七、八八三	二二、二八四
同上賠償金	町圓	六、二九一	六、二九一	九、九〇八	五、九九七	六、四六一	六、一三六	六、六三二	八、九四七	一三、八七九	一七、八〇六
平均一町當賠償金	町圓	六三	六三	七五	六六	六二	六二	六六	八〇	七六	八三
納付包數	包	九七	九七	一、一三	一、〇三〇	九四	九八	九八	九八	一、四九四	一、七二七
一包當量目	町石	一〇、一九三	一〇、一九三	二、四五六	九、四五〇	二、二二三	一一、二二三	三、一三六	一一、三三二	二二、九七〇	二二、三三五
平均一包當收納量目	町石	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	一八、八六六	一三〇、九	一三〇、九	一六八、八	一六八、〇	一四三、八	一七二、二	一七九、一
平均一反步當賠償金	町圓	二五、〇七九	二五、〇七九	一三四、八九	八〇、六八九	一〇五、二三四	一〇五、二三四	八六、一六五	一一五、九三三	一三三、六五五	一四九、八三二
反別量目	町歩	〇七九	〇七九	一一四	一三〇	一三九	一三九	一五四	二〇二	二四〇	二八〇
平均一人當賠償金	町圓	九一、一八一	九一、一八一	二六、八	一七〇、六	二三五、五	二三五、五	二六〇、三	三〇〇、〇	四一五、九	五〇六、八

美 和 村

區分	年次	美 和 村									
		昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年	(平均)
耕作人員	人	五八	六六	六三	二六	三三	二九	二六	二四	二九	三八五
檢査反別	歩	二、四七一九	五、七七〇八	六、二二〇〇	三、七二二三	三、二〇五五	四、一四三三	四、九七〇二	五、〇七〇八	七、八〇〇七	四八、二六二五
收納量目	百斤	四、八五八、三	一三、四三三、六	一〇、九五〇、四	六、七一九、三	五、八八七、九	七、九四九、三	九、三三四、〇	九、九九六、五	一五、三四〇、〇	九〇、八六五、三
同上賠償金	円	四、四〇六、四六五	九、五〇四、四四〇	七、七五八、一五〇	五、三〇六、四九〇	四、一四五、四三〇	四、二九二、四三〇	三、一四七、三二〇	七、八一九、七二〇	一〇、九四八、五〇〇	六四、一三〇、二二五
平均一疋當賠償金	円	九〇、一	七〇、七	七〇、八	七九、六	七〇、四	四八、四	四八、四	七八、二	七二、九	七〇、六
納付包數	包	五三	一一、一九五	九八九	六三三	五八六	五九二	六二二	七六五	一一、一九二	七七七
一包當量目	斤	九、二八九	一一、二四三	一一、〇七四	一〇、八〇四	一〇、九四三	一三、四五二	一〇、六四二	一三、〇六七	一三、七八〇	一一、七九〇
平均一反步當收納量目	百斤	一六六、一	二二二、九	一七八、九	一七八、一	一八三、四	一九一、六	一三〇、八	一九七、一	一九五、二	一八八、三
平均一反步當賠償金	円	一七、九四三	一六四、六四六	二二六、六九	一四二、六五四	二一九、〇七四	一〇三、四九九	六三、三二八	一五四、一五四	一四〇、三三三	一三、八七六
平均一反別量目	百斤	八三、六	二〇三、六	一七四、〇	二〇三、六	二〇三、六	二五六、五	一七〇、二	二二四、五	二六二、七	一、二二六
平均一人當賠償金	円	七五、九七四	一四四、〇〇七	一三三、一四五	一六二、〇二五	一五九、四四〇	一三八、四六五	一〇八、五八	三五、八二二	三七、五三四	一六六、五七二

裳 掛 村

區分	年次	裳 掛 村									
		昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年	(平均)
耕作人員	人	二七	一〇八	一〇〇	八七	九二	八八	七六	七七	七二	九一九
檢査反別	歩	一七、三〇〇九	二〇、五〇三	二〇、三四四	一九、一七八	二〇、六七二	一九、九四〇四	二〇、一三五	二二、四三〇	二二、二八六	一八六、九〇〇
收納量目	百斤	三、四、一九〇、六	四一、四八九、三	三二、八〇一、三	三二、六六六、五	三四、八八七、〇	三二、三九三、五	二四、四〇〇、五	三三、四〇八、五	三八、六五七、五	三二七、二五、八
同上賠償金	円	一九、六六八、一九〇	二七、一四六、八五〇	二二、五七四、七〇〇	一九、八四四、三〇〇	一八、五九三、九二〇	二〇、六九八、一五〇	一七、二六四、〇六〇	二五、五五五、二五〇	三三、四八五、二四〇	二二四、三三六、七〇七
平均一疋當賠償金	円	七二、一	六五、四	六五、八	六三、七	五三、三	六三、九	七〇、八	七六、五	八六、六	六七、五
納付包數	包	二、四九一	二、七四八	二、六七三	二、六二二	二、八二六	二、六四六	二、七七五	二、九三三	三、〇八九	二五、八三二
一包當量目	斤	一三、七二五	一五、〇九八	一三、二七〇	一三、二四	一三、三九〇	一二、二四二	八、七九二	一一、四〇〇	一二、五二五	一二、二八〇
平均一反步當收納量目	百斤	二五八、八	二〇一、八	一六六、三	一六五、〇	一六八、八	一六二、四	一二二、二	一五五、九	一七三、五	一六九、六
平均一反步當賠償金	円	二〇二、〇五八	一三三、〇九七	一〇六、〇二九	一〇三、四八五	八九、九三九	一〇三、七九五	八五、七四二	一一九、二六八	一五〇、二五七	二二四、五七二
平均一反別量目	百斤	一四六、三	一〇一、〇	一〇一、〇	一一〇、一	一二四、一	一二〇、二	一二五、四	一四三、九	一五四、五	二〇一〇
平均一人當賠償金	円	一一四、三五二	二五、三六〇	二五、七四七	二二八、〇九六	二〇一、一〇八	二三五、二〇六	二二二、三三四	三三一、八八六	四七一、六三三	二二二、一一九

太 伯 村

區分	年次									
	大正五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
耕作人員								三	九	三
檢査反別								一、九九七	三、四九三	三、五七四
收納量目								二、二七五、五	五、二〇二、五	五、四九九、五
同上賠償金								一、八〇九、四八〇	三、七五七、八九〇	三、三九一、九七〇
平均一疋當賠償金								七九五	七三二	六六七
納付包數								二七七	四六五	四六二
一包當量								八、二五	二、二八八	二、一九四
平均一包當目								二一三、八	一四八、九	一五三、七
平均一反步當目								九〇、五二九	一〇七、五四二	九四、八〇二
平均一反步當賠償金								一六〇	二九〇四	三九三
平均一反步當反別量目								一八九、六	四三三、五	六一、一
平均一反步當賠償金								一五〇、七九〇	三三三、一五八	三七六、八八六

久 郡

區分	年次									
	大正五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
耕作人員	三四八	八八三	八九〇	七八九	七〇	七四三	七三三	六八一	六六	五八二
檢査反別	一五、三〇七	八九、九六六	二九、七三二	一四、二〇六	一五〇、七〇七	一八〇、六〇五	一七九、三三二	一八五、二二五	一九〇、七九〇	一八八、〇三二
收納量目	三五、五七、〇	一七一、八七三、〇	二四六、〇三三、〇	二二、七五、五	二四五、六五八、〇	三三五、九二六、〇	二八四、四三三、〇	二二八、四三三、〇	二九七、九一五、〇	三二一、六九二、〇
同上賠償金	二八、四〇〇、六九三	一一、三三八、一七〇	一七三、九五、七六〇	一五四、三〇九、〇〇〇	一六五、六七四、六五〇	一九八、六六九、八六〇	一九五、〇二六、九八〇	一五七、五九八、二五〇	二三八、〇〇八、八七〇	二四〇、二八、八六〇
平均一疋當賠償金	八〇〇	六四八	七〇七	六九六	六七四	五九一	六八六	七二	七六五	七七二
納付包數	三、四八二	一六、一七九	一八、八四九	二〇、〇〇六	二〇、四七九	二五、四〇四	二四、二二	二二、七五三	二四、六三三	二五、一五三
一包當量	一〇、二〇四	一〇、六四	一三、〇五〇	一一、〇八一	一一、九二六	一三、二二三	一一、七九七	九、六〇〇	一一、〇九九	一一、三九二
平均一包當目	六二九、九〇〇	一九八、四	一八九、八	一五三、八	一六三、一	一八六、四	一五八、六	一一八、〇	一五六、一	一六五、八
平均一反步當目	一八五、六三	二二、八二	一三四、〇八四	一〇七、〇〇九	一〇九、九二八	一一〇、三二	一〇八、七四九	八五、二二	一一九、五四	一二七、七五三
平均一反步當賠償金	〇四二	一〇六	一四七	一八八	二〇八	二四〇八	二四一五	二七〇六	三〇一四	三〇九
平均一反步當反別量目	一〇二、〇	一九四、六	二七六、四	二八〇、九	三四一、三	四五一、三	三八八、六	三〇〇、八	四七五、九	五五五、六
平均一反步當賠償金	八二、六四〇	二六、一四七	一九五、四五六	一九五、五七五	二三〇、一〇四	二六七、三八九	二六六、四三〇	二三一、四三	三六四、三三二	四二二、七四七

計(平均) 六、九九四、四三三、四七六、三三六、九、一七三、五一六、五、二六二、〇九三

岡山縣下郡別事蹟

(反別)

年次	和氣	色久	淺口	兒島	真庭	小田	吉備	御津	後月	久米	上房	計
大正十四年	四,五二五											四,五二五
一五年	三,〇六七	一五,三三七										二七,七〇四
昭和二年	一九,七四六	八九,九六六										一〇九,七一二
三年	三三,三二〇	三九,七三八										一五三,八五六
四年	三三,三三〇	一四,三〇六	九,九三〇									一七七,五六六
五年	一六,〇五八	一五,〇七七	一〇,七三三	一,九六六	一,〇〇五							一九〇,四六八
六年	一八,七二九	一〇,三〇五	五,四二六	三九,一六六	一,〇〇三							二九七,六二九
七年	一九,三九五	一九,三三一	五,八七三	四二,三三三	一,〇〇八	三,九五二						三〇六,七〇三
八年	一九,〇七〇	一八,三三五	七,三〇七	五,五二四		二,八〇三	八,五八七					三五一,五六六
九年	三三,五四九	一〇,七九〇	一〇,八三四	六〇,二〇〇		一九,四九二	一三,四〇七					四一五,四〇一
一〇年	二七,四〇一	一八,〇三二	三三,六九九	六五,二六五	五,六二五	四四,三〇〇	一七,七三三	四三,四九三	四二,八三七	五九,〇九〇	二,九二九	五九九,三二三

(收納量目)

區分	和氣	色久	淺口	兒島	眞庭	小田	吉備	御津	後月	久米	上房	計
天正一四年	10,135,9											10,135,9
一五年	33,858,1	35,577,0										59,435,1
昭和二年	39,156,4	17,187,3										32,000,4
三年	44,554,1	24,600,3										29,055,7
四年	31,866,6	32,755,5	15,155,0									268,747,1
五年	26,300,0	24,568,0	39,072,0	3,478,9	669,3							35,048,2
六年	31,035,5	35,960,0	25,925,3	70,541,6	1,549,1							555,964,5
七年	24,500,0	28,443,0	84,971,5	45,765,5	1,121,6	6,548,5	3,599,0					450,999,1
八年	30,725,5	28,443,0	91,030,5	45,765,5		17,300,0	13,034,0					426,375,5
九年	38,025,5	27,925,0	176,935,5	86,535,5		3,278,5	3,276,5					654,485,5
一〇年	44,535,5	31,691,0	211,445,5	91,290,0	6,435,5	67,670,0	3,371,0	58,235,0	6,870,0	56,355,5	4,200,0	944,966,0

(賠償金)

區分	和氣	色久	淺口	兒島	眞庭	小田	吉備	御津	後月	久米	上房	計
天正一四年	8,978,540											8,978,540
一五年	28,797,154	28,443,0	6,935									58,017,847
昭和二年	27,850,121	38,170										28,066,310
三年	36,721,010	17,955,70										210,677,70
四年	35,540,000	15,309,000	10,108,00									17,995,480
五年	27,378,800	26,645,00	35,144,100	1,900,100	40,70							210,355,460
六年	26,077,300	19,669,60	33,100,000	2,925,00	70,80							344,935,820
七年	23,425,170	19,506,90	67,030,000	3,634,60	35,448	3,063,820	2,269,90					289,188,958
八年	22,063,100	15,595,50	66,137,20	3,344,70		2,489,90	9,059,70					299,007,220
九年	28,797,650	28,443,0	36,445,100	3,300,00		3,067,40	15,893,80					446,553,50
一〇年	33,591,340	32,860,000	53,610,000	55,974,30	3,589,70	48,981,50	2,446,70	3,973,90	7,627,00	3,933,30	2,652,940	600,688,580

區分	年次	大正一四年	一五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
和氣色	八八六	九一四	六九五	八三四	七四〇	六九六	六四七	五九九	五二六	四六八	四九八	七五五
久淺	八〇〇	六四七	六四七	六四七	六四七	六四七	六四七	六四七	六四七	六四七	六四七	七七一
口兒												七六三
島真												六四四
庭小												五四九
田吉												七四四
備御												七五六
津後												五六六
月久												五三三
米上												五八五
房												六三一
計	八八六	九一四	六九五	八三四	七四〇	六九六	六四七	五九九	五二六	四六八	四九八	七五五

(一疋當賠償金)

區分	年次	大正一四年	一五年	昭和二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	一〇年
和氣色	一九九、〇〇七	一八五、六三三	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二
久淺												一〇一、五〇二
口兒												一〇七、〇〇九
島真												一〇六、八五九
庭小												一〇六、八五九
田吉												一〇六、八五九
備御												一〇六、八五九
津後												一〇六、八五九
月久												一〇六、八五九
米上												一〇六、八五九
房												一〇六、八五九
計	一九九、〇〇七	一八五、六三三	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二	一三三、八二二

(一反步當賠償金)

342
1003

昭和十一年十二月二十二日印刷
昭和十一年十二月二十八日發行

岡山縣邑久郡長濱村四三三九

編輯兼發行人

小林

壽

太

岡山縣邑久郡牛窓町三八八八

印刷人

石井

政

次

岡山縣邑久郡牛窓町三八八八

印刷所

石井

印刷

所

岡山縣邑久郡邑久村

發行所

邑久郡煙草耕作聯合組合

終

